

全町会・自治会実態調査
報告書

令和4年3月

墨田区
地域力支援部 地域活動推進課

目 次

I 実施概要	1
1 目的	3
2 調査期間	3
3 調査対象及び回収状況	3
4 実施スケジュール	3
5 その他	3
6 調査結果を見る上での注意事項	4
II 調査結果	5
1 貴町会・自治会の「会長・役員」について	7
(1) 会長について.....	7
(2) 役員について.....	12
2 町会・自治会の「活動」について	15
(1) 会費について.....	15
(2) 活動について.....	16
(3) 若手人材の活用について.....	18
(4) 地域の他の組織・団体との協力関係について.....	19
(5) 認可地縁団体について.....	22
(6) 情報発信について.....	23
(7) デジタル化について.....	24
3 町会・自治会の「加入促進活動」について	29
(1) 未加入者への加入呼びかけについて.....	29
(2) 新たに加入した方々に対する対応について.....	31
(3) 加入を断られた際の理由について.....	33
(4) 若年層の未加入者に対し必要だと思うこと.....	34
(5) 加入者の退会について.....	34
(6) 集合住宅の加入促進について.....	35
4 町会・自治会の「運営に関する課題」について.....	38
5 町会・自治会の「行政との協働」について	43
(1) 行政に実施してもらいたい支援や協力.....	43
(2) コロナ禍において行政に実施してもらいたい支援や協力.....	46
(3) 行政が実施している支援制度について.....	48
(4) 今後活用したい支援制度について.....	50
6 自由意見	51

Ⅲ	まとめ ～今後の方向性～	53
1	調査結果から見えてきた問題点の整理	55
2	各分野の問題点・課題において求められる対応.....	57
3	今後の方向性	59
Ⅳ	調査票	61

I 実施概要

1 目的

全町会・自治会に対し、区内の町会等の現状・課題を詳細に調査し、地域コミュニティの持続的な活性化のために活用する。

2 調査期間

令和3年10月8日（金）[調査票郵送] から11月19日（金）まで

※ 調査期間中に適宜地域担当員より、各町会長等への聴き取り調査を実施

3 調査対象及び回収状況

170町会・自治会配布：回収率100.0%（うちインターネット回答 7団体）

4 実施スケジュール

令和3年

10月 1日（金）	全町会長・自治会長あてに事前案内の書面送付
10月 7日（木）	地域担当員への調査説明
10月 8日（金）	町会等への調査票配布（郵送）
	※ 調査期間中に各町会長等への聴き取り調査を実施
11月19日（金）	調査票回答締切
12月中旬まで	未回収町会・自治会への回答協力依頼
12月から1月上旬	集計・分析
2月上旬	集計結果まとめ、中間報告
3月下旬	報告書作成
3月下旬～	報告書の報告等（区議会、区のお知らせ、区ホームページ等） 各町会・自治会へ配布

5 その他

今後も調査を続け、経年変化を追っていくが、調査時期については当初3年に1度程度としていたものを5年に1度程度として実施していく。

【考え方】前回調査の結果との比較において、新型コロナによる影響やデジタル化への取組等といった社会状況に応じた新たな課題が確認できたものの、人材不足や役員の高齢化など従前から指摘されている運営上の大きな課題が引き続きあることや活動の実態に際立った変化が確認されていない。また各町会・自治会の負担軽減に配慮する必要がある。

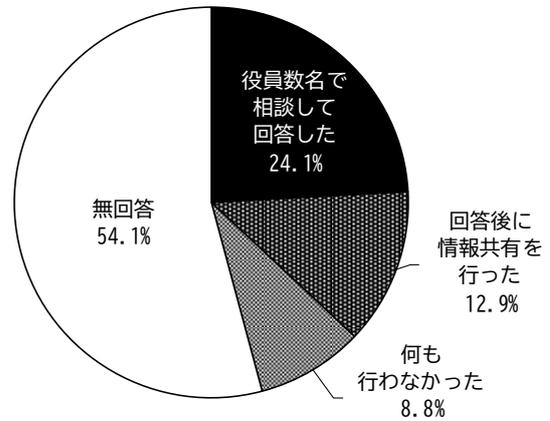
6 調査結果を見る上での注意事項

- ① 本文、数表及び図表中に記載する「n」は、設問に対する回答者数である。
- ② 構成比は「n」を基準とした百分率で表し、小数点第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ③ 本文、数表及び図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

II 調査結果

※可能であれば、本調査の回答は、貴町会・自治会等の役員会等でお話し合い又は情報共有等をした上で行ってください（①～③のいずれかに○をご記入ください）。

(n=170)	実数	構成比
役員数名で相談して回答した	41	24.1%
回答内容の情報共有を行った	22	12.9%
何も行わなかった	15	8.8%
無回答	92	54.1%



1 貴町会・自治会の「会長・役員」について

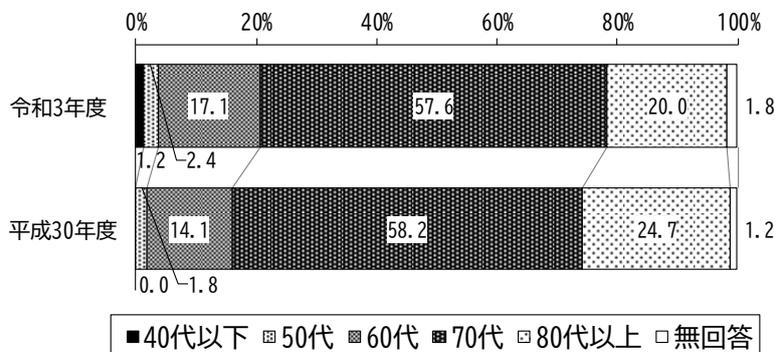
(1) 会長について

Q1 会長についてお伺いします。

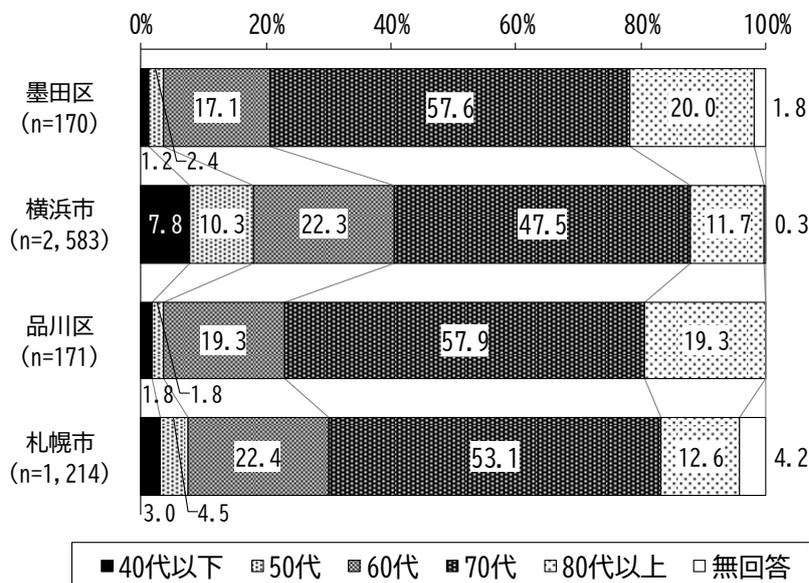
① 年代について、あてはまるもの1つに○をご記入ください。

70代以上が77.6%と8割近くを占めている。平成30年度調査では70代以上は82.9%であり、今回5.3ポイント低くなった。

	令和3年度 (n=170)		平成30年度 (n=170)	
	実数	構成比	実数	構成比
40代以下	2	1.2%	0	0.0%
50代	4	2.4%	3	1.8%
60代	29	17.1%	24	14.1%
70代	98	57.6%	99	58.2%
80代以上	34	20.0%	42	24.7%
無回答	3	1.8%	2	1.2%



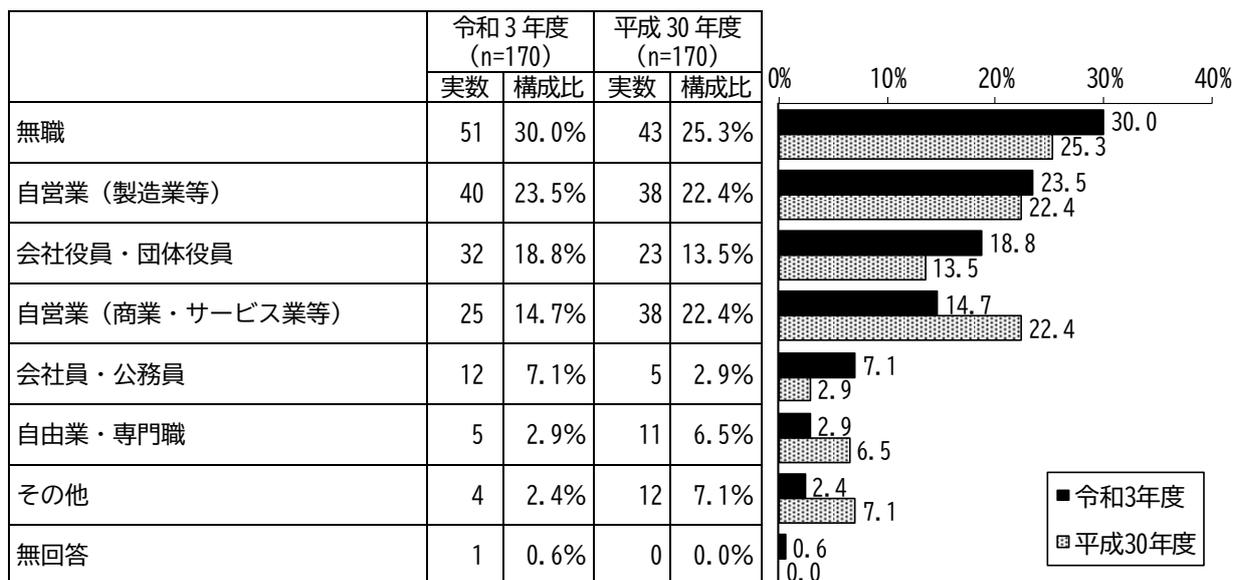
会長の年代について、他自治体調査との比較を行ったところ、いずれの自治体においても70代が最も多くなっている。



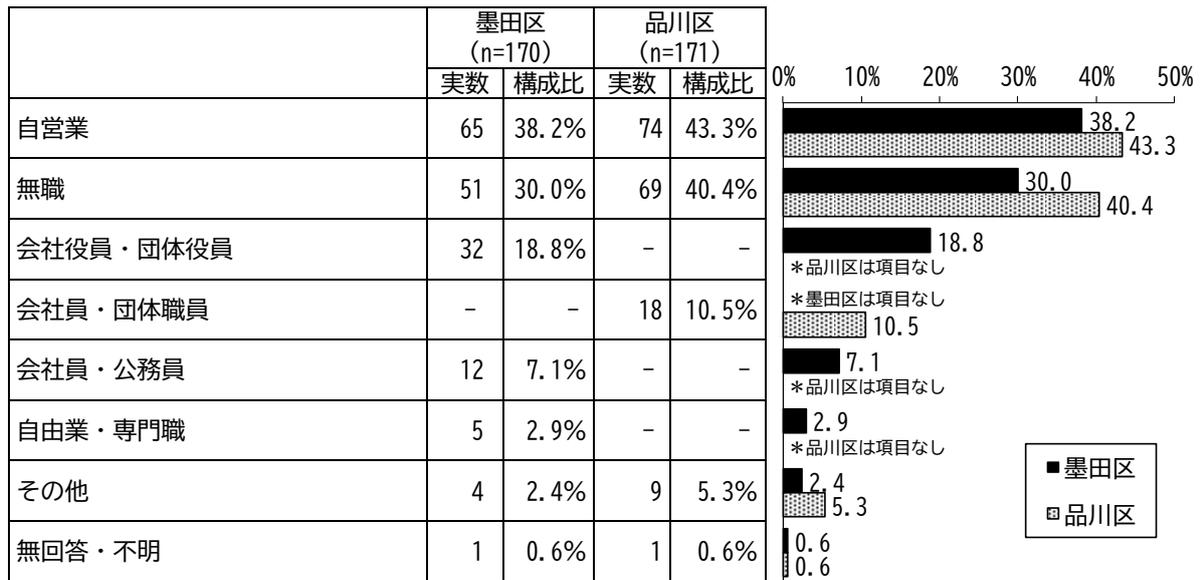
※横浜市「令和2年度 自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書」（令和3年3月）より作成。
 ※品川区「令和3年度 町会・自治会活動活性化促進調査報告書」（令和3年12月）より作成。
 ※札幌市「町内会・自治会に関するアンケート調査結果」（令和2年3月）より作成。

② 現在の職業について、あてはまるもの1つに○をご記入ください。

「自営業（製造業等）」（23.5%）と「自営業（商業・サービス業等）」（14.7%）を合わせると【自営業】が38.2%と最も多く、次いで「無職」が30.0%、「会社役員・団体役員」が18.8%と続いている。平成30年度調査と比較すると、「自営業（商業・サービス業等）」が22.4%から14.7%と7.7ポイント低くなり、「会社役員・団体役員」が13.5%から18.8%と5.3ポイント高くなった。



会長の現在の職業について、品川区調査との比較を行ったところ、下記のような結果であった。



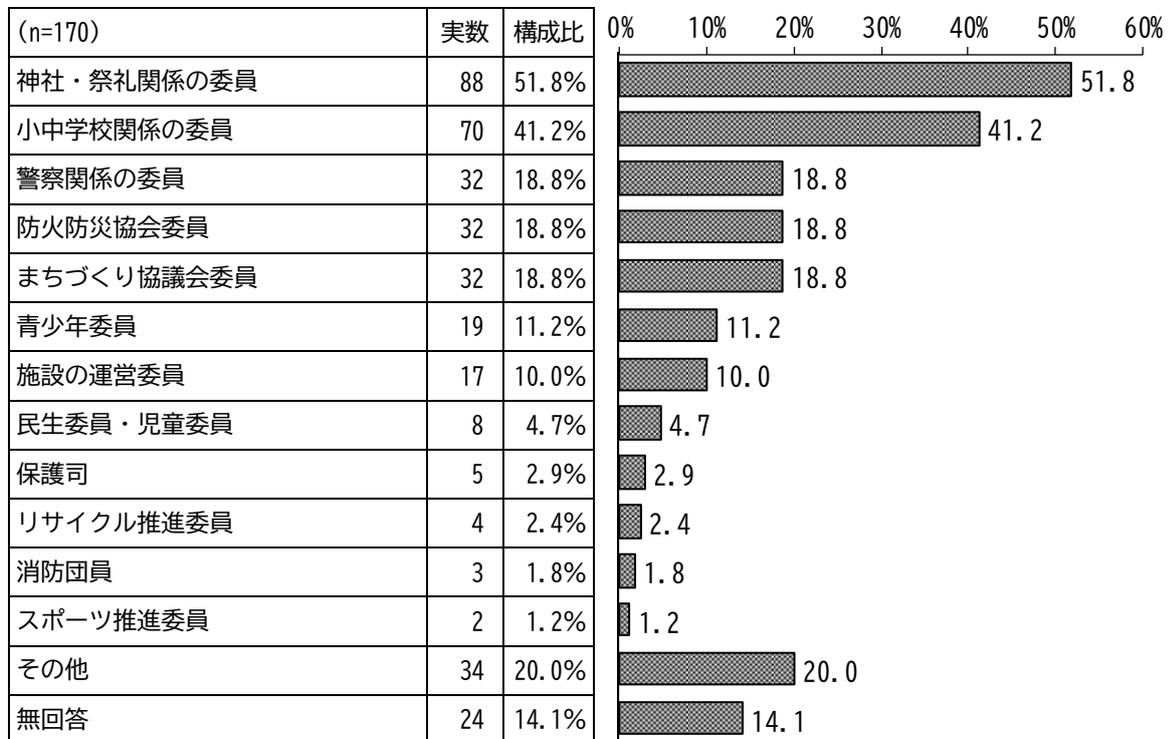
※品川区「令和3年度 町会・自治会活動活性化促進調査報告書」（令和3年12月）より作成。

※墨田区の数値は、品川区の選択肢に合わせ、再集計を行った。

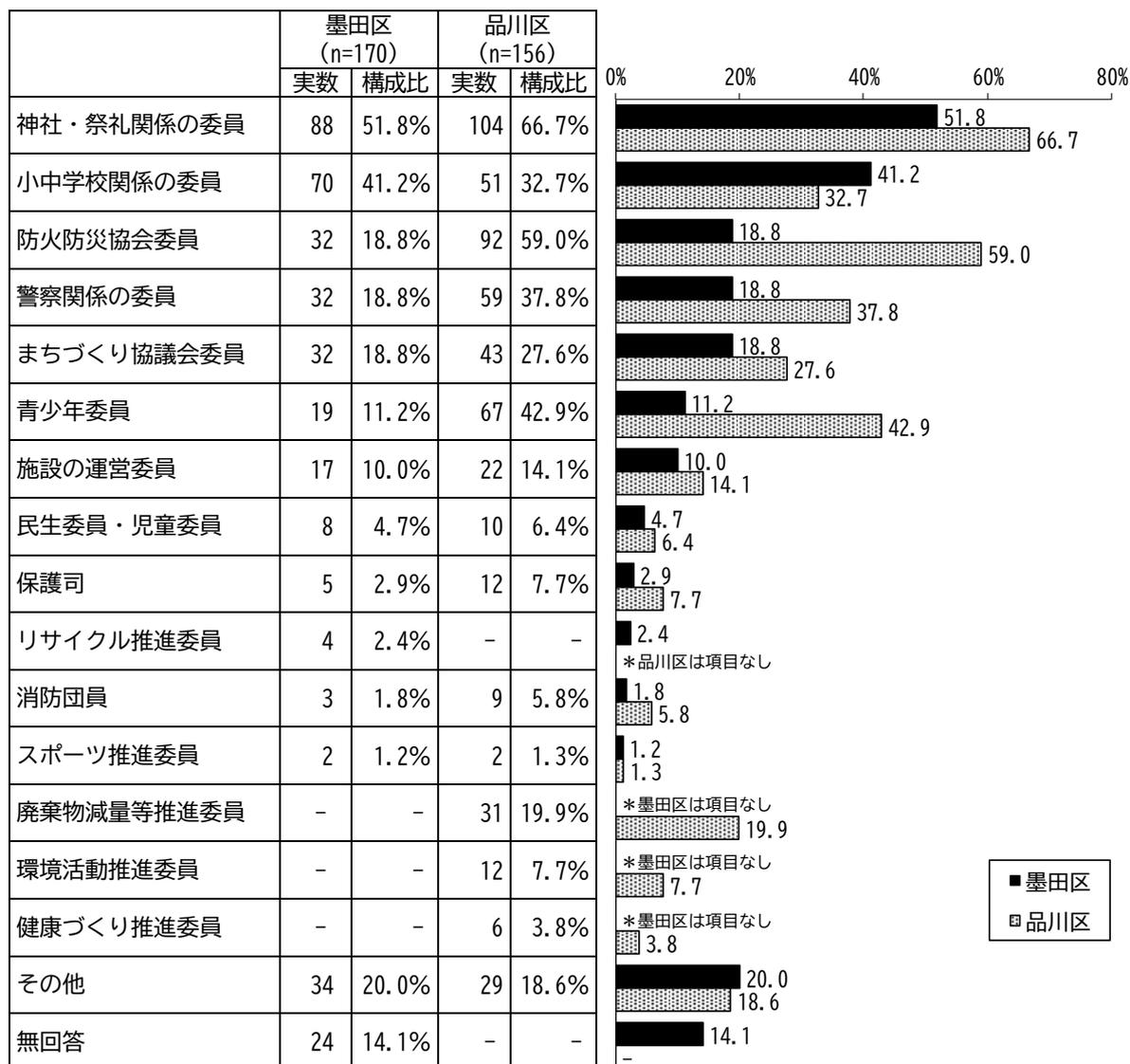
③ 会長の職以外に務めている役職について、あてはまるもの全てに○をご記入ください。

【複数回答可】

「神社・祭礼関係の委員」が51.8%と最も多く、次いで「小中学校関係の委員」が41.2%、「警察関係の委員」が18.8%と続いている。



会長の職以外に務めている役職について、品川区調査との比較を行ったところ、下記のような結果であった。

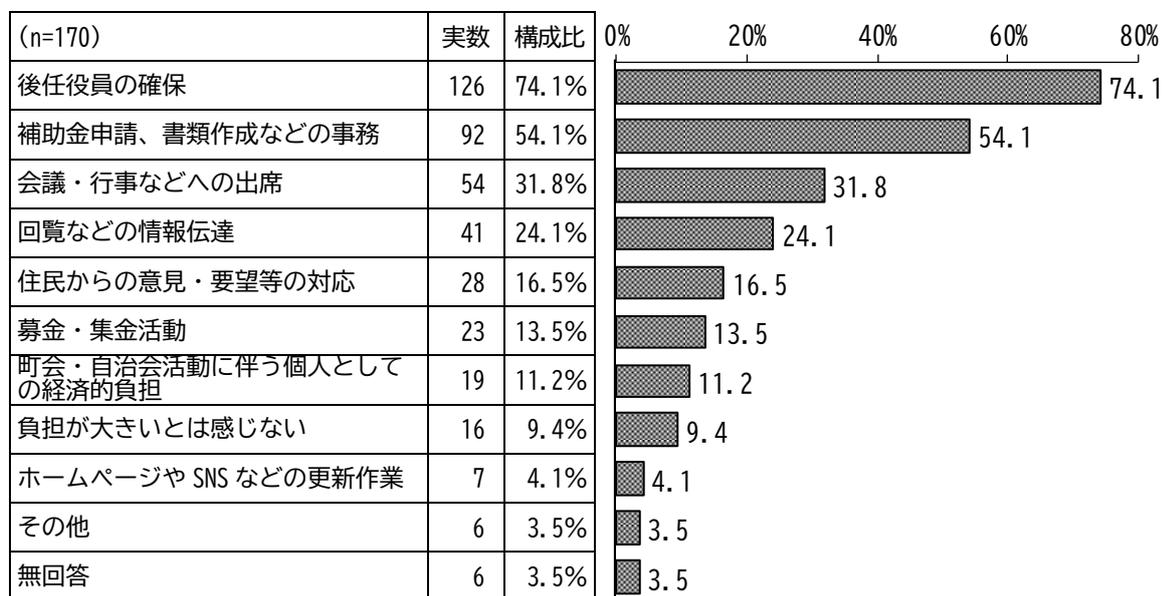


※品川区「令和3年度 町会・自治会活動活性化促進調査報告書」（令和3年12月）より作成。

※「青少年委員」は、品川区調査では「青少年対策地区委員」で実施。

④ 会長を務めて特に負担が大きいと感じることについて、あてはまるもの3つまで○をご記入ください。

「後任役員の確保」が74.1%と最も多く、次いで「補助金申請、書類作成などの事務」が54.1%、「会議・行事などへの出席」が31.8%と続いている。



※4つ以上回答の場合も有効とした。

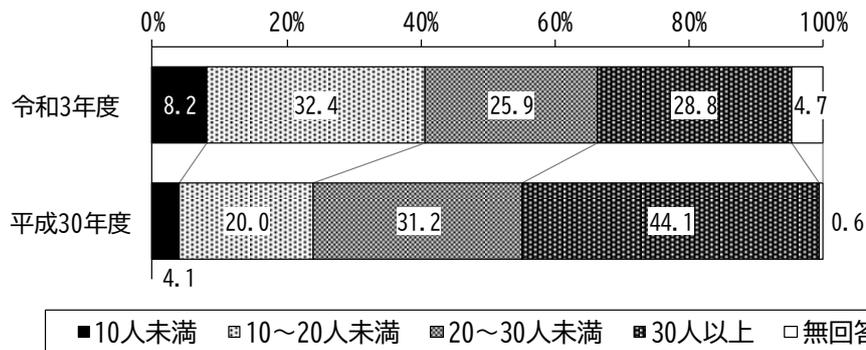
(2) 役員について

Q2 役員についてお伺いします。

① 役員の数について、あてはまるもの1つに○をご記入ください。

役員が「10～20 人未満」の団体が 32.4%と最も多く、次いで「30 人以上」が 28.8%であった。平成 30 年度調査では 20 人以上の役員で運営されている団体は 75.3%であったが、今回は 54.7%と 20.6 ポイント低くなった。

	令和3年度 (n=170)		平成30年度 (n=170)	
	実数	構成比	実数	構成比
10人未満	14	8.2%	7	4.1%
10～20人未満	55	32.4%	34	20.0%
20～30人未満	44	25.9%	53	31.2%
30人以上	49	28.8%	75	44.1%
無回答	8	4.7%	1	0.6%



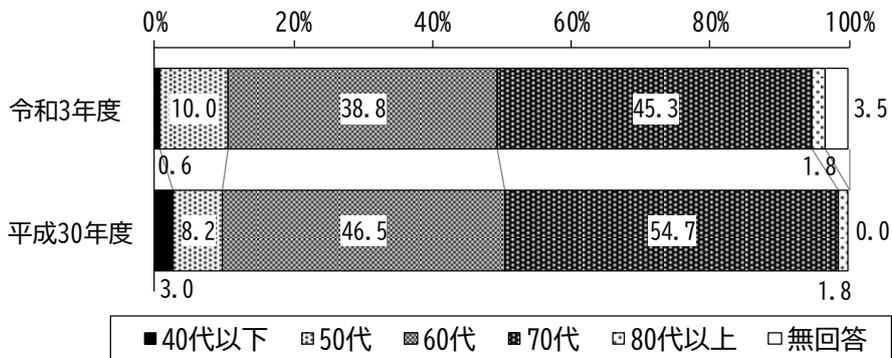
② 役員の年代について、最も人数が多いと思う年代1つに○をご記入ください。

最も人数が多い年代は「70代」が45.3%と最も多く、次いで「60代」が38.8%であった。

平成30年度調査では複数回答を有効としているため単純には比較できないが、70代以上が56.5%から今回は47.1%と9.4ポイント低くなった。

	令和3年度 (n=170)		平成30年度 (n=170)	
	実数	構成比	実数	構成比
40代以下	1	0.6%	5	2.9%
50代	17	10.0%	14	8.2%
60代	66	38.8%	79	46.5%
70代	77	45.3%	93	54.7%
80代以上	3	1.8%	3	1.8%
無回答	6	3.5%	0	0.0%

※平成30年度調査は「主要役員の年代」として聴取し、複数回答も有効としている。



③ 役員の職業について、多いと思うもの2つまで○をご記入ください。

「自営業（商業・サービス業等）」（40.0%）と「自営業（製造業等）」（35.3%）を合わせると【自営業】が75.3%と最も多く、次いで「会社員・公務員」（43.5%）、「無職」（37.6%）と続いている。

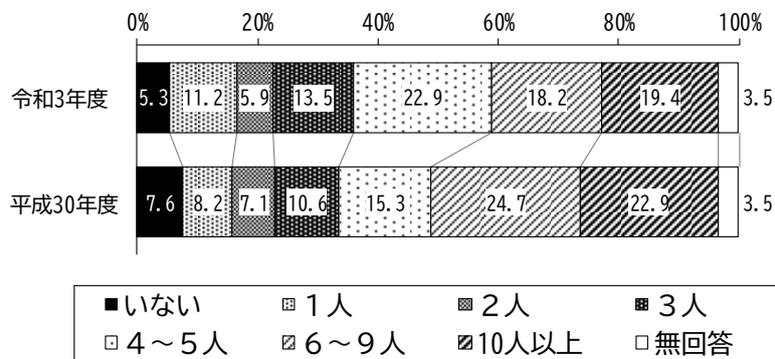
(n=170)	実数	構成比	割合 (%)
会社員・公務員	74	43.5%	43.5
自営業（商業・サービス業等）	68	40.0%	40.0
無職	64	37.6%	37.6
自営業（製造業等）	60	35.3%	35.3
会社役員・団体役員	12	7.1%	7.1
自由業・専門職	9	5.3%	5.3
その他	5	2.9%	2.9
無回答	8	4.7%	4.7

※3つ以上回答の場合も有効とした。

④ 役員のうち、女性は何人いますか。あてはまるもの1つに○をご記入ください。

女性の役員が5人以下と回答した団体は58.8%であり、平成30年度調査の48.8%と比較すると10ポイント高くなった。

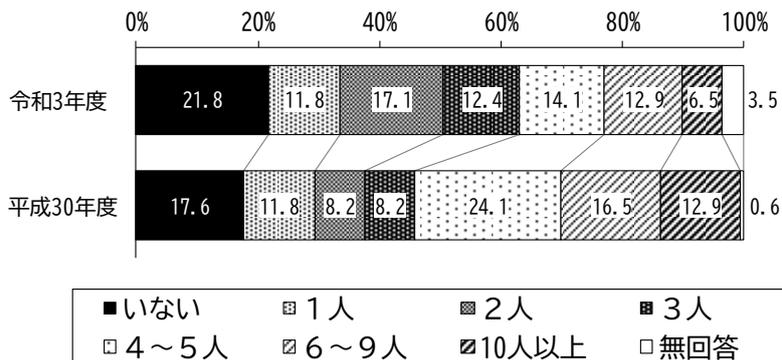
	令和3年度 (n=170)		平成30年度 (n=170)	
	実数	構成比	実数	構成比
いない	9	5.3%	13	7.6%
1人	19	11.2%	14	8.2%
2人	10	5.9%	12	7.1%
3人	23	13.5%	18	10.6%
4～5人	39	22.9%	26	15.3%
6～9人	31	18.2%	42	24.7%
10人以上	33	19.4%	39	22.9%
無回答	6	3.5%	6	3.5%



⑤ 役員のうち、50歳代以下は何人いますか。あてはまるもの1つに○をご記入ください。

50歳以下の役員が3人以下と回答した団体は62.9%であり、平成30年度調査の45.9%と比較すると17ポイント高くなった。

	令和3年度 (n=170)		平成30年度 (n=170)	
	実数	構成比	実数	構成比
いない	37	21.8%	30	17.6%
1人	20	11.8%	20	11.8%
2人	29	17.1%	14	8.2%
3人	21	12.4%	14	8.2%
4～5人	24	14.1%	41	24.1%
6～9人	22	12.9%	28	16.5%
10人以上	11	6.5%	22	12.9%
無回答	6	3.5%	1	0.6%



2 町会・自治会の「活動」について

(1) 会費について

Q3 会費（年間）はいくらですか。

町会等の年会費（1人当たり）については、3,001円～4,000円の間が28.2%と最も多く、次いで、2,001円～3,000円の間が10.6%となっている。

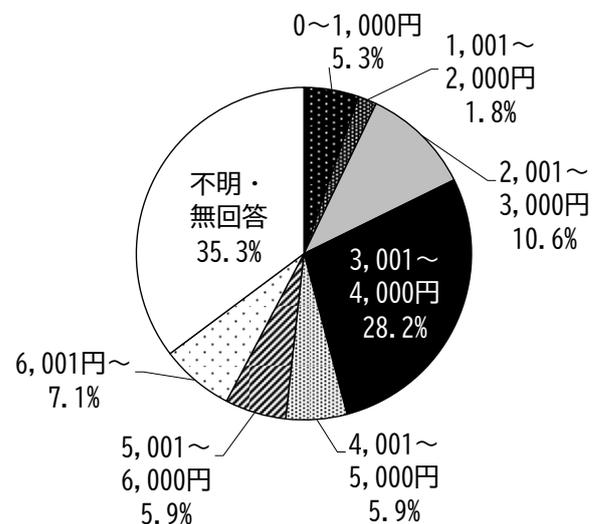
具体的には、3,600円が47件、6,000円が10件、2,400円と3,000円がともに9件、4,800円が7件等であった。

※以下の回答は、金額が明確ではないため、「不明」とした。

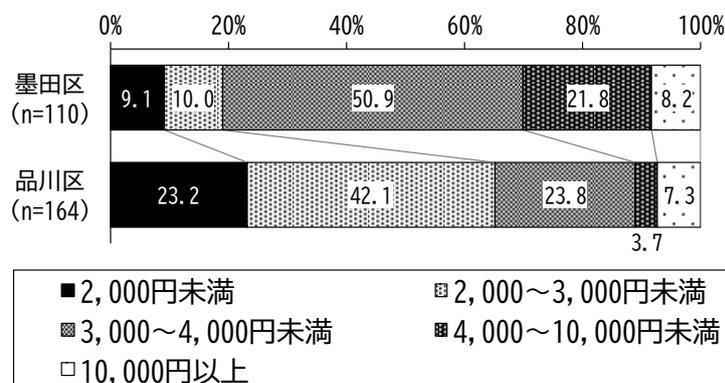
- ①会費に最低額と最高額がある場合（●●円～▲▲円）
- ②会費の最高額が未確定の場合（●●円以上）
- ③個別のケースについて記入の場合（住宅●●円、店舗▲▲円など）
- ④年間の総金額を記入していると思われるもの（100万円以上）
- ⑤「一定でない」などの回答

⇒回答が「不明」または無回答の団体数：60団体（170団体中）

(n=170)	実数	構成比
0～1,000円	9	5.3%
1,001～2,000円	3	1.8%
2,001～3,000円	18	10.6%
3,001～4,000円	48	28.2%
4,001～5,000円	10	5.9%
5,001～6,000円	10	5.9%
6,001円～	12	7.1%
不明・無回答	60	35.3%
平均	5,244円	



品川区の調査結果と比較すると、墨田区では「3,000～4,000円未満」の回答が最も多くなっているのに対し、品川区では「2,000～3,000円未満」が最も多くなっている。



※品川区「令和3年度 町会・自治会活動活性化促進調査」（令和3年12月）より作成。
 ※墨田区の数値は、品川区の集計区分に合わせ、「不明・無回答」を除外し、再集計を行った。

(2) 活動について

Q4 貴町会・自治会の活動についてお伺いします。

① 貴町会・自治会では、新型コロナウイルスの影響によりどのような対応を行いましたか。(1)～(15)の活動内容それぞれの「対応状況」について、あてはまる番号に1つずつ○をご記入ください。

「中止」との回答が最も多かった活動は、「町内の親睦のための各種活動（旅行会・交流会など）」(80.6%)、「祭りなどの文化行事」(71.2%)、「他町会等との交流を図る活動（親睦会など）」(62.9%)、「子どもを対象とした活動（お楽しみ会など）」(62.9%)、「健康づくり推進活動（スポーツ、運動会等）」(51.2%)、「青少年健全育成活動」(50.0%)、「趣味・教養のためのサークル活動」(47.1%)であった。

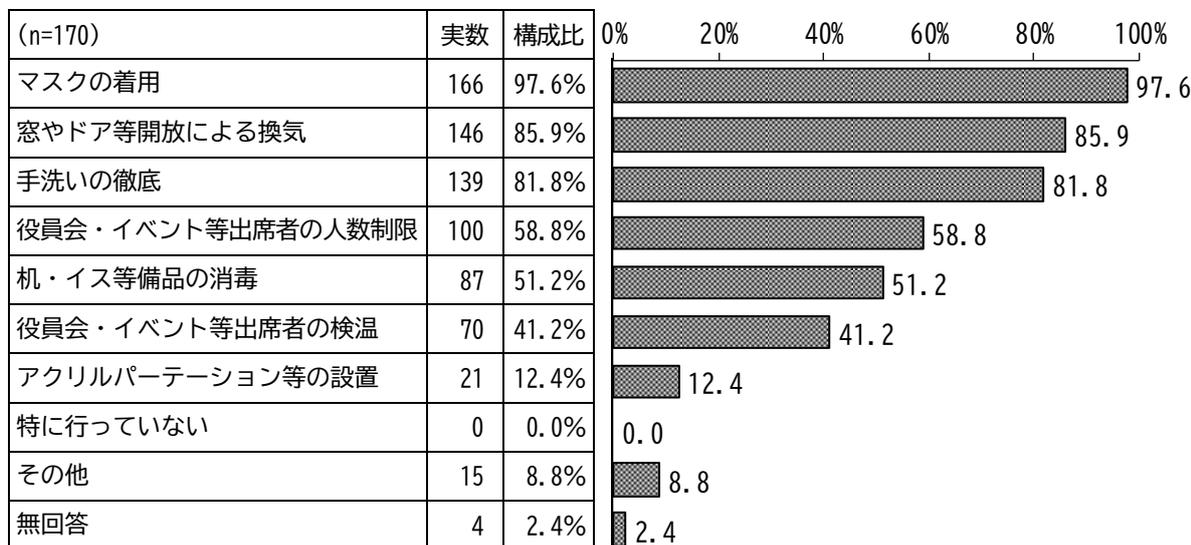
「縮小して実施」が最も多かった活動は、「交通安全推進活動」(44.7%)、「防災活動（災害の予防や災害時の対策等）」(54.1%)、「地域福祉活動（高齢者・障がい者への支援など）」(38.2%)、「防犯活動・見守り活動（防犯パトロールなど）」(61.8%)であった（「環境美化活動（清掃・リサイクルなど）」は「縮小して実施」と「通常通り実施」が同率最多）。

(n=170)	中止		縮小して実施		通常通り実施		もともと実施していない		わからない		無回答	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
(1)環境美化活動（清掃・リサイクルなど）	51	30.0%	55	32.4%	55	32.4%	1	0.6%	2	1.2%	6	3.5%
(2)交通安全推進活動	56	32.9%	76	44.7%	26	15.3%	6	3.5%	0	0.0%	6	3.5%
(3)青少年健全育成活動	85	50.0%	34	20.0%	8	4.7%	24	14.1%	8	4.7%	11	6.5%
(4)防災活動（災害の予防や災害時の対策等）	44	25.9%	92	54.1%	25	14.7%	0	0.0%	0	0.0%	9	5.3%
(5)町内の親睦のための各種活動（旅行会・交流会など）	137	80.6%	14	8.2%	2	1.2%	10	5.9%	0	0.0%	7	4.1%
(6)地域福祉活動（高齢者・障がい者への支援など）	37	21.8%	65	38.2%	37	21.8%	17	10.0%	4	2.4%	10	5.9%
(7)防犯活動・見守り活動（防犯パトロールなど）	21	12.4%	105	61.8%	31	18.2%	5	2.9%	1	0.6%	7	4.1%
(8)健康づくり推進活動（スポーツ、運動会等）	87	51.2%	12	7.1%	9	5.3%	52	30.6%	2	1.2%	8	4.7%
(9)他町会等との交流を図る活動（親睦会など）	107	62.9%	22	12.9%	3	1.8%	30	17.6%	1	0.6%	7	4.1%
(10)子どもを対象とした活動（お楽しみ会など）	107	62.9%	34	20.0%	6	3.5%	12	7.1%	3	1.8%	8	4.7%
(11)祭りなどの文化行事	121	71.2%	38	22.4%	2	1.2%	3	1.8%	0	0.0%	6	3.5%
(12)趣味・教養のためのサークル活動	80	47.1%	19	11.2%	4	2.4%	54	31.8%	3	1.8%	10	5.9%
(13)地域財産や建物などの共同管理	28	16.5%	19	11.2%	37	21.8%	64	37.6%	10	5.9%	12	7.1%
(14)町会・自治会内トラブルの調整	15	8.8%	22	12.9%	54	31.8%	32	18.8%	34	20.0%	13	7.6%
(15)その他	6	3.5%	1	0.6%	4	2.4%	1	0.6%	7	4.1%	151	88.8%

※「その他」を除いた各項目において、最も回答の多かった選択肢に網掛けをしている。

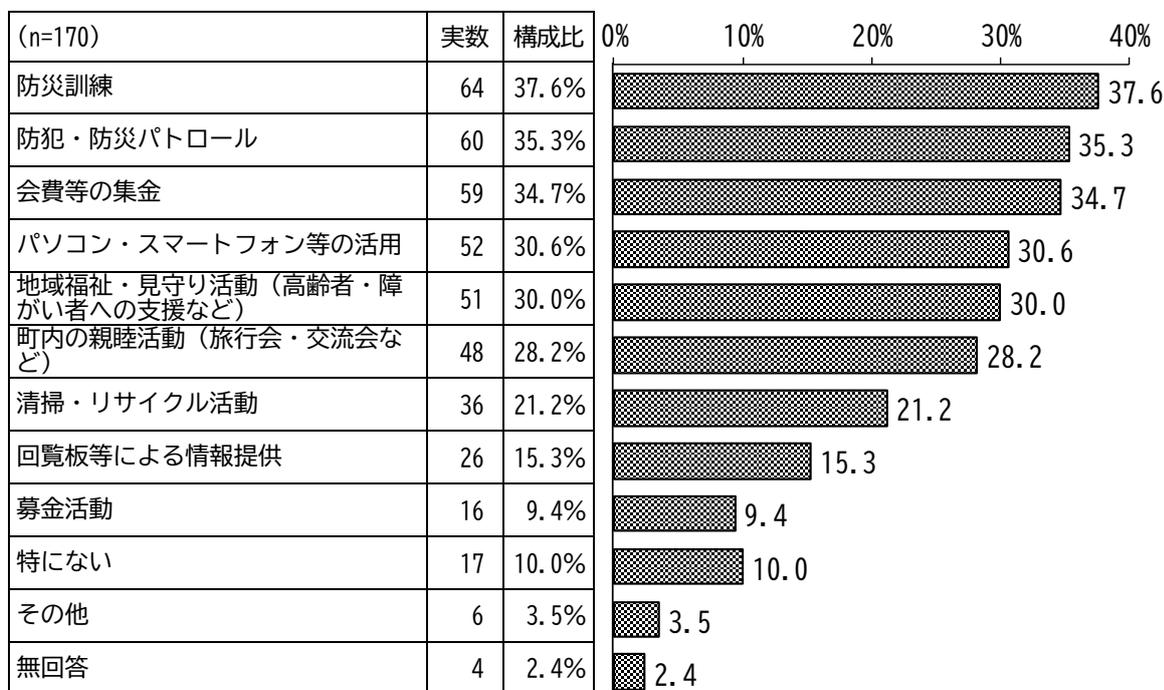
② 貴町会・自治会では、活動を行う中で新型コロナウイルスの感染対策としてどのような予防対策を実施していますか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。[複数回答可]

活動を行う中での感染対策としては、「マスクの着用」が97.6%と最も多く、次いで「窓やドア等開放による換気」(85.9%)、「手洗いの徹底」(81.8%)と続いている。



③ 貴町会等の活動の中で、このまま役員の高齢化が進むと実施が困難であると思われる活動は何ですか。あてはまるもの3つまで○をご記入ください。

このまま役員の高齢化が進むと実施が困難であると思われる活動としては、「防災訓練」が37.6%と最も多く、次いで「防犯・防災パトロール」(35.3%)、「会費等の集金」(34.7%)と続いている。

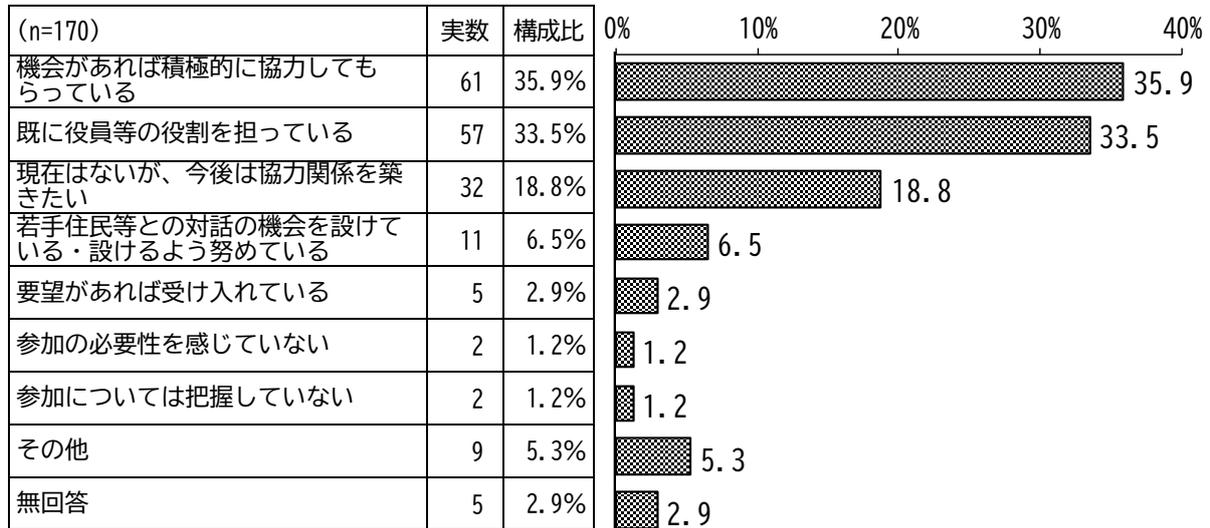


※4つ以上回答の場合も有効とした。

(3) 若手人材の活用について

Q5 貴町会等の活動の中では、男女を問わず20歳代から50歳代程度までの若手人材が参加していますか。最も近いもの1つに○をご記入ください。

20歳代から50歳代程度までの若手人材の活用については、「機会があれば積極的に協力してもらっている」が35.9%、「既に役員等の役割を担っている」が33.5%と、ともに3割程度であった。



※2つ以上回答の場合も有効とした。

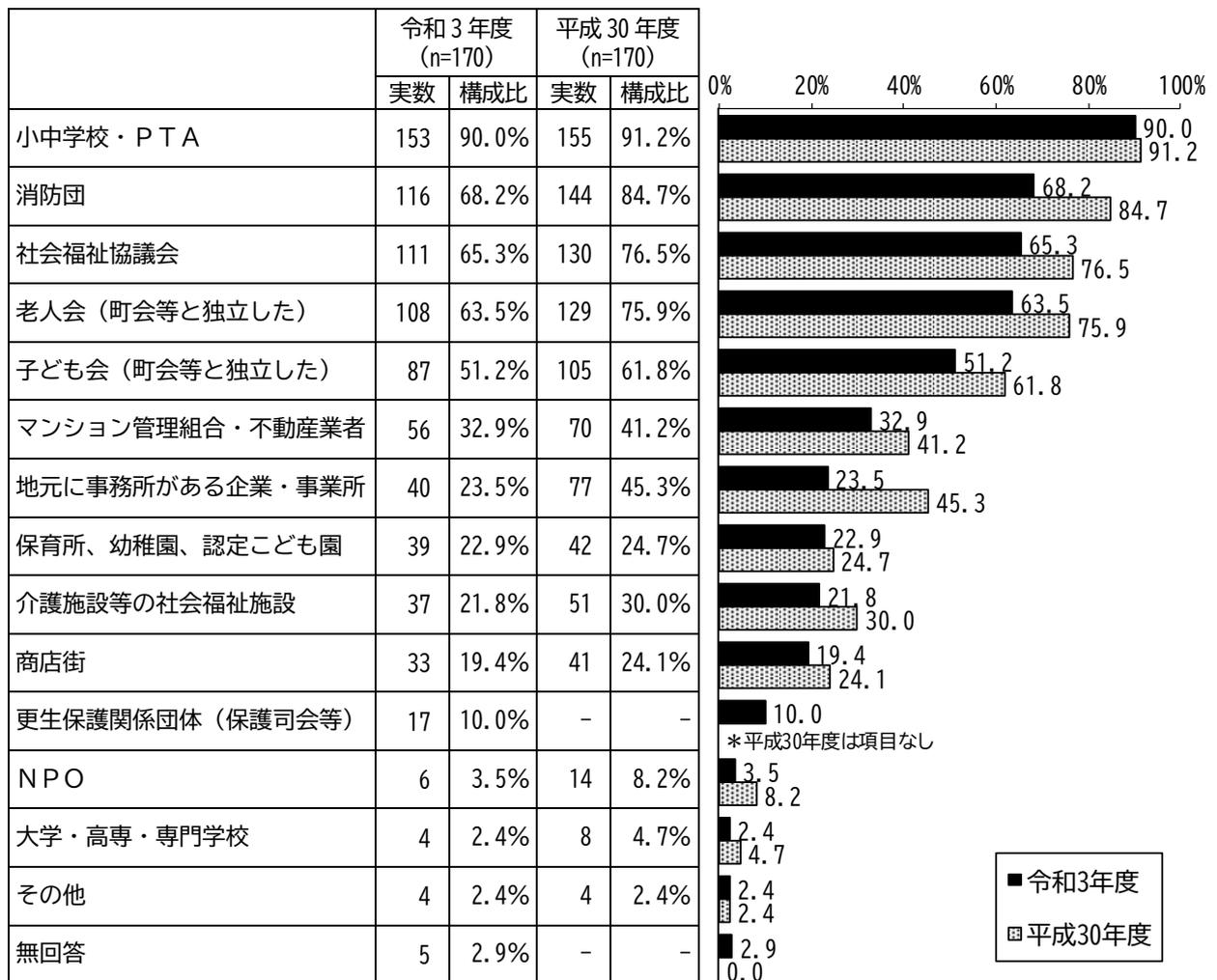
(4) 地域の他の組織・団体との協力関係について

Q6 地域の他の組織や団体との協力関係についてお伺いします。下表①②について、あてはまる番号に○をご記入ください。

① 地域の他の組織や団体との協力関係はありますか。(1)～(14)の組織・団体のうち、あてはまる番号全てに○をご記入ください。[複数回答可]

「小中学校・PTA」が90.0%と最も多く、次いで「消防団」(68.2%)、「社会福祉協議会」(65.3%)、「老人会(町会等と独立した)」(63.5%)と続いている。

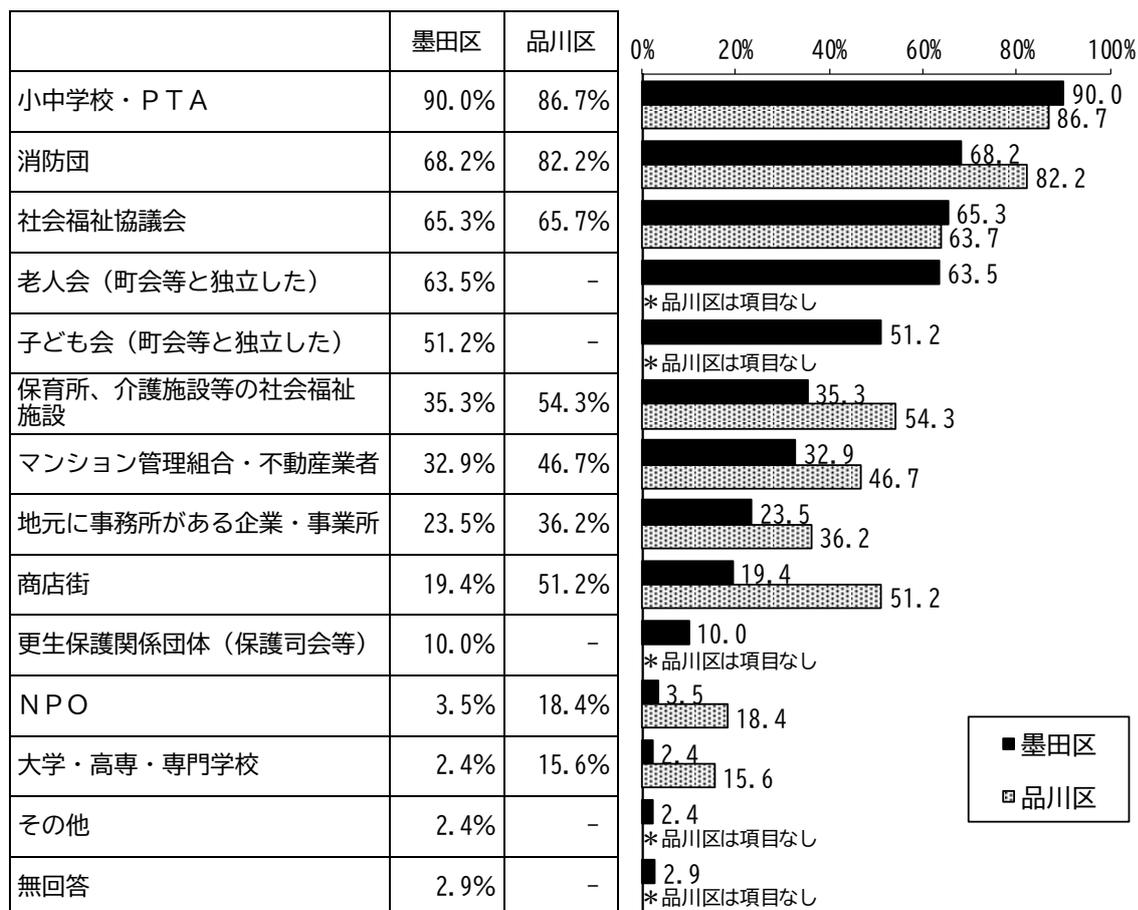
平成30年度調査とは聴取方法が異なるため単純に比較することは難しいが、最も差の大きい項目は「地元で事務所がある企業・事業所」(今回21.8ポイント低下)、次いで「消防団」(今回16.5ポイント低下)であった。



※平成30年度は「密接な協力関係あり」「必要に応じて協力関係あり」「情報交換のみで直接の協力なし」「協力関係なし」の4選択肢で聴取しており、「密接な協力関係あり」と「必要に応じて協力あり」の合計を協力関係があるととした。

※「保育所、幼稚園、認定こども園」は、平成30年度は「保育所」で実施。

地域の他の組織や団体との協力関係について、品川区調査との比較を行ったところ、下記のような結果であった。



※品川区「令和3年度 町会・自治会活動活性化促進調査」（令和3年12月）より作成。

※品川区調査は「密接な協力関係にある」「必要に応じて協力しあっている」「情報交換はしているが活動に対して直接的な協力関係がない」「ほとんど協力はしていない」の4選択肢で聴取しており、「密接な協力関係にある」と「必要に応じて協力しあっている」の合計を協力関係があるとした。

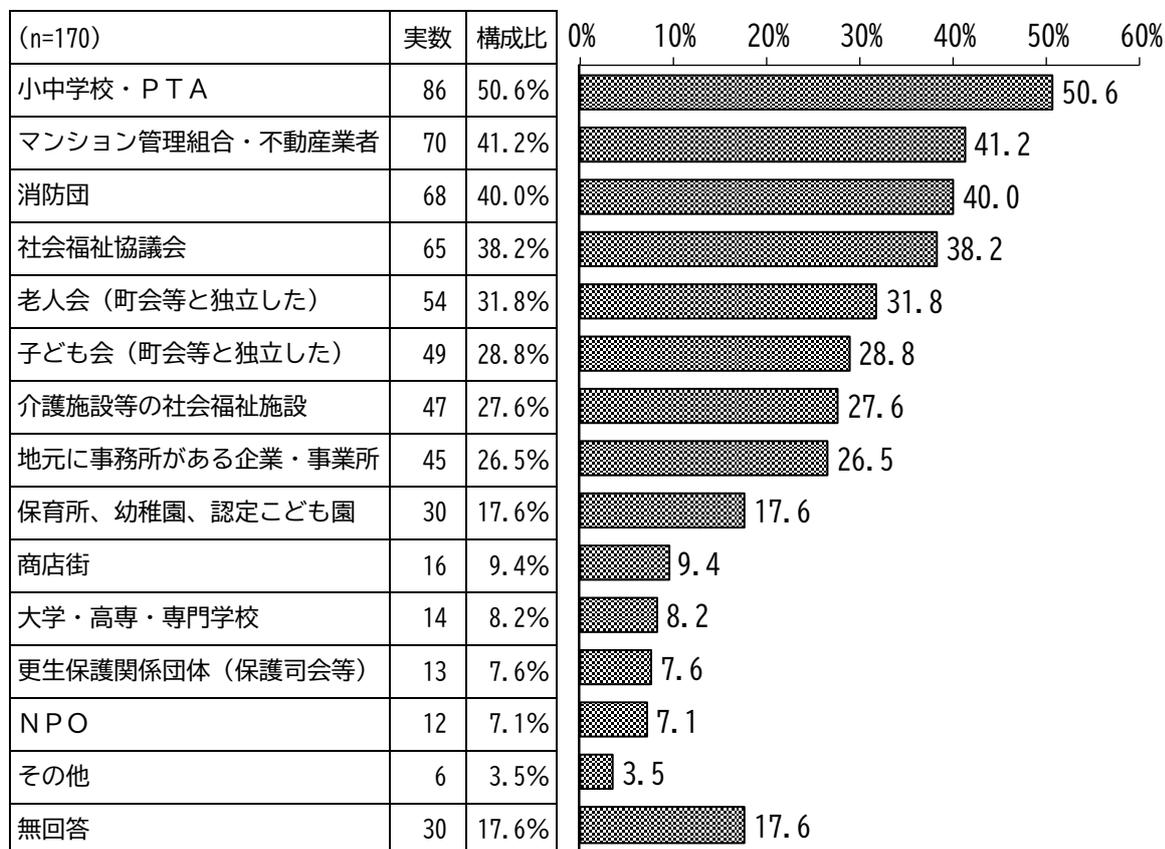
※「保育所、介護施設等の社会福祉施設」は品川区調査の選択肢と合わせるため、墨田区の数値は「保育所、幼稚園、認定こども園」と「介護施設等の社会福祉施設」のいずれかまたは両方選択している団体を再集計した。

※「マンション管理組合・不動産業者」は、品川区調査では「マンションの管理組合」で実施。

※「商店街」は、品川区調査では「商店街（商店会）」で実施。

② 今後の活動において、特に協力関係を密にしていきたいと思う組織・団体は何ですか。あてはまる番号全てに○をご記入ください。[複数回答可]

今後特に協力関係を密にしていきたい組織・団体としては、「小中学校・PTA」が50.6%と最も多く、次いで「マンション管理組合・不動産業者」(41.2%)、「消防団」(40.0%)と続いている。



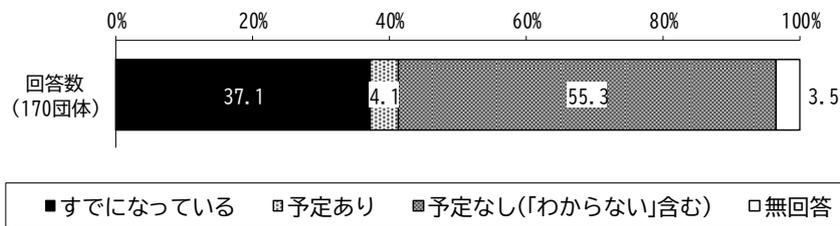
(5) 認可地縁団体について

Q7 認可地縁団体についてお伺いします。

① 貴町会・自治会は今後、認可地縁団体となる予定はありますか。あてはまるもの1つに○をご記入ください。

すでに認可地縁団体になっている町会・自治会は 37.1%であり、4.1%が「予定あり」と回答しているが、一方で「予定なし（「わからない」含む）」が 55.3%と半数を超えている。

(n=170)	実数	構成比
すでになっている	63	37.1%
予定あり	7	4.1%
予定なし（「わからない」含む）	94	55.3%
無回答	6	3.5%



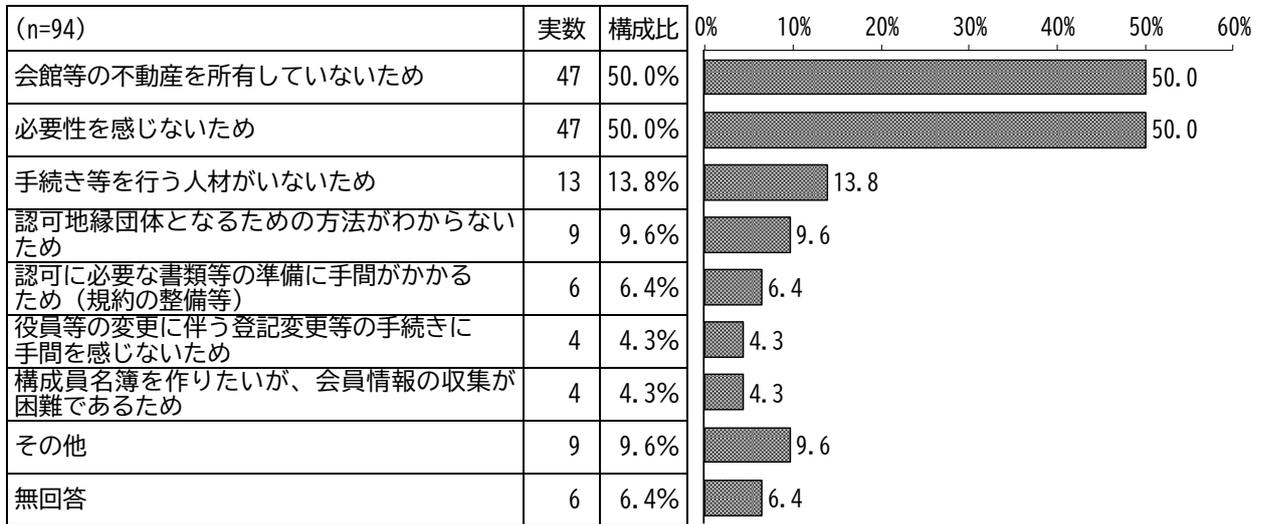
② 貴町会・自治会で認可地縁団体の認可を受けようとする目的について、最も近いもの1つに○をご記入ください。

認可地縁団体の許可を受ける予定があると回答した 7 団体に、その目的について尋ねたところ、「不動産を団体名義で登記するため」が 6 団体と最も多かった。

(n=7)	実数	構成比
不動産を団体名義で登記するため	6	85.7%
不動産以外の財産（登録を要する金融資産等）を団体名義で登録等するため	1	14.3%
町会・自治会活動における契約締結や口座開設など、団体名義とした方が適切であるため	1	14.3%
その他	0	0.0%

③ 貴町会・自治会が認可地縁団体化を考えていないのはなぜですか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。[複数回答可]

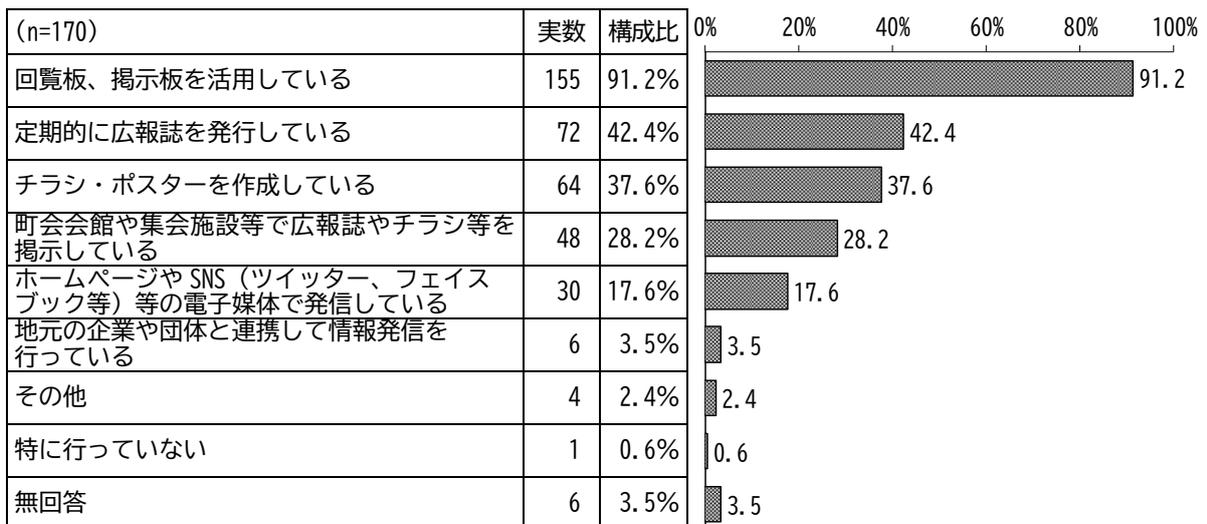
認可地縁団体の認可を受ける予定がないと回答した 94 団体に、その理由について尋ねたところ、「会館等の不動産を所有していないため」と「必要性を感じないため」がともに 50.0%と最も多かった。



(6) 情報発信について

問8 貴町会・自治会の活動をどのような方法で情報発信していますか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。[複数回答可]

情報発信の方法としては、9 割を超える団体が「回覧板、掲示板を活用している」(91.2%)と回答している。他に、「定期的に広報誌を発行している」(42.4%)、「チラシ・ポスターを作成している」(37.6%)など、紙媒体による発信が主体となっており、「ホームページや SNS (ツイッター、フェイスブック等) 等の電子媒体で発信している」(17.6%)は 2 割を下回っている。



(7) デジタル化について

Q9 デジタル化についてお伺いします。

① 貴町会・自治会が普段利用している情報通信機器等の利用状況についてお聞きします。次の(1)～(7)の機器等それぞれの「利用状況」について、あてはまる番号に1つずつ○をご記入ください。

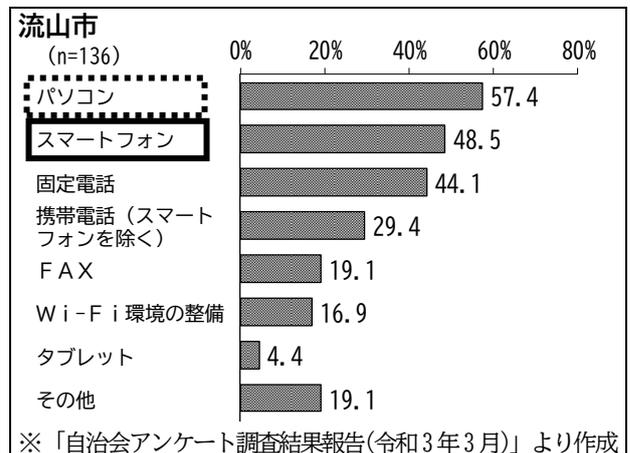
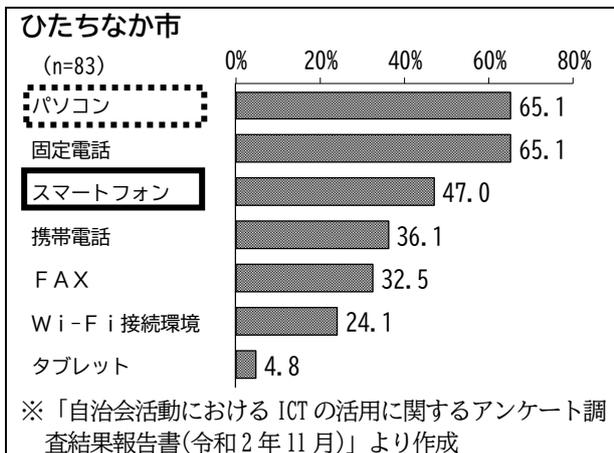
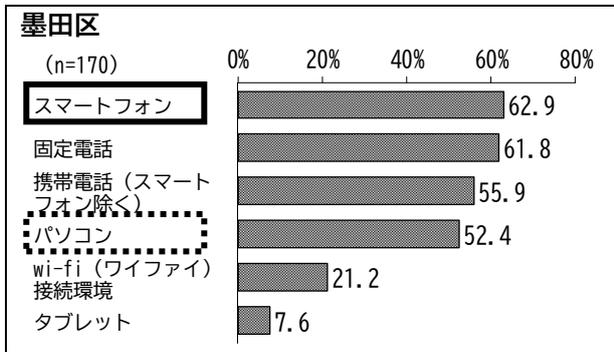
「スマートフォン」(62.9%)、「固定電話」(61.8%)、「携帯電話(スマートフォン除く)」(55.9%)、「パソコン」(52.4%)については5～6割の団体が「現在利用している」と回答した。「wi-fi(ワイファイ)接続環境」(21.2%)と「タブレット」(7.6%)については、利用している団体は多くないものの、「現在利用していないが、将来的には利用したい」との回答がともに25%程度見られる。

(n=170)	現在利用している		現在利用していないが、将来的には利用したい		現在利用していないし、将来的にも利用する予定はない		無回答	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
(1)固定電話	105	61.8%	1	0.6%	28	16.5%	36	21.2%
(2)携帯電話 (スマートフォン除く)	95	55.9%	2	1.2%	27	15.9%	46	27.1%
(3)スマートフォン	107	62.9%	19	11.2%	12	7.1%	32	18.8%
(4)パソコン	89	52.4%	29	17.1%	15	8.8%	37	21.8%
(5)タブレット	13	7.6%	43	25.3%	36	21.2%	78	45.9%
(6) wi-fi (ワイファイ) 接続環境	36	21.2%	44	25.9%	27	15.9%	63	37.1%

※各項目において、最も回答の多かった選択肢に網掛けをしている。

情報通信機器等の利用状況について、他自治体調査との比較を行った。

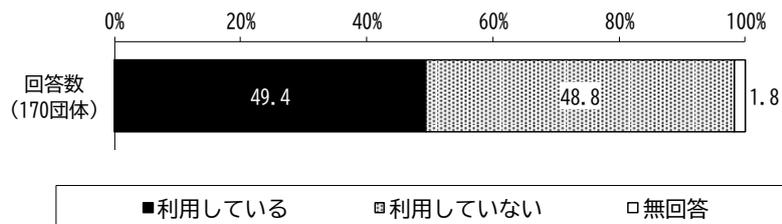
選択肢や聴取の方法が異なるため単純に比較することは難しいが、墨田区ではスマートフォンの利用率がパソコンより高い点が特徴のひとつとして挙げられる。



② 貴町会・自治会活動の中で、普段デジタルツール（電子メールやライン、ホームページなど）を利用していますか。

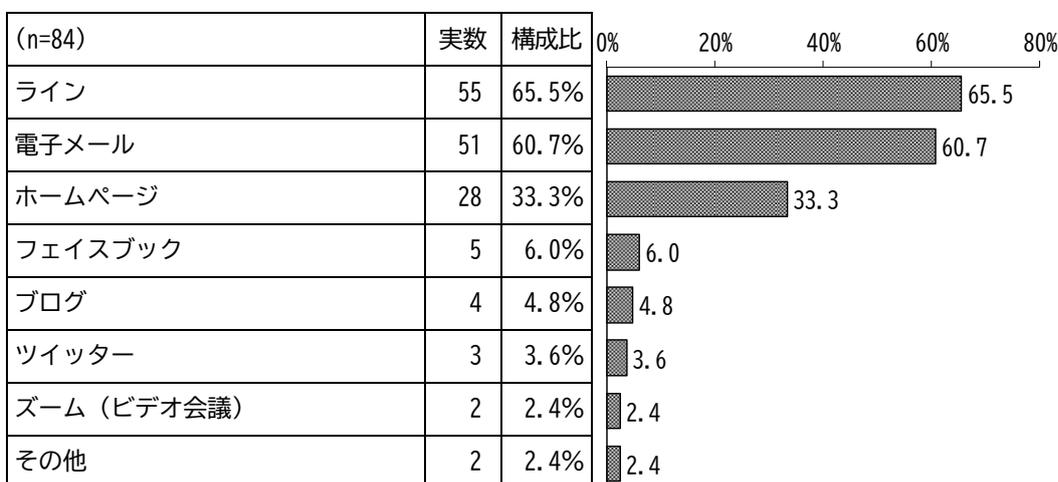
「利用している」（49.4%）と「利用していない」（48.8%）がほぼ半々であった。

(n=170)	実数	構成比
利用している	84	49.4%
利用していない	83	48.8%
無回答	3	1.8%



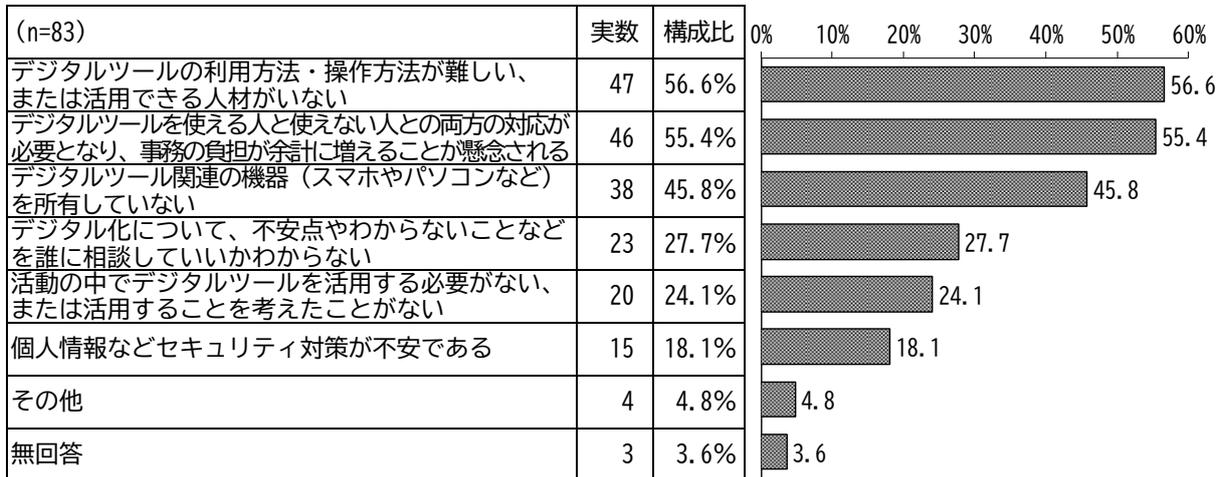
③ 貴町会・自治会活動の中で普段利用しているデジタルツールについて、あてはまるもの全てに○をご記入ください。[複数回答可]

デジタルツールを「利用している」と回答した 84 団体に普段利用しているデジタルツールについて尋ねたところ、「ライン」（65.5%）と「電子メール」（60.7%）が 6 割を超えており、「ホームページ」（33.3%）は 3 割程度、その他の項目は 1 割を下回った。



④ 貴町会・自治会活動でデジタルツールを活用していない理由について、あてはまるもの全てに○をご記入ください。【複数回答可】

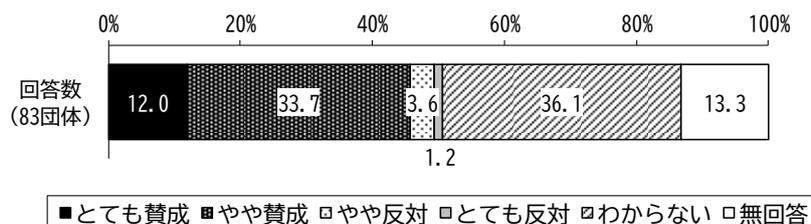
デジタルツールを「利用していない」と回答した 83 団体にデジタルツールを利用していない理由について尋ねたところ、「デジタルツールの利用方法・操作方法が難しい、または活用できる人材がない」(56.6%)と「デジタルツールを使える人と使えない人との両方の対応が必要となり、事務の負担が余計に増えることが懸念される」(55.4%)が 5 割を超えており、次いで「デジタルツール関連の機器（スマホやパソコンなど）を所有していない」(45.8%)と続いている。



⑤ 今後、デジタルツールを積極的に活用していくことに賛成ですか。最も近いもの1つに○をご記入ください。

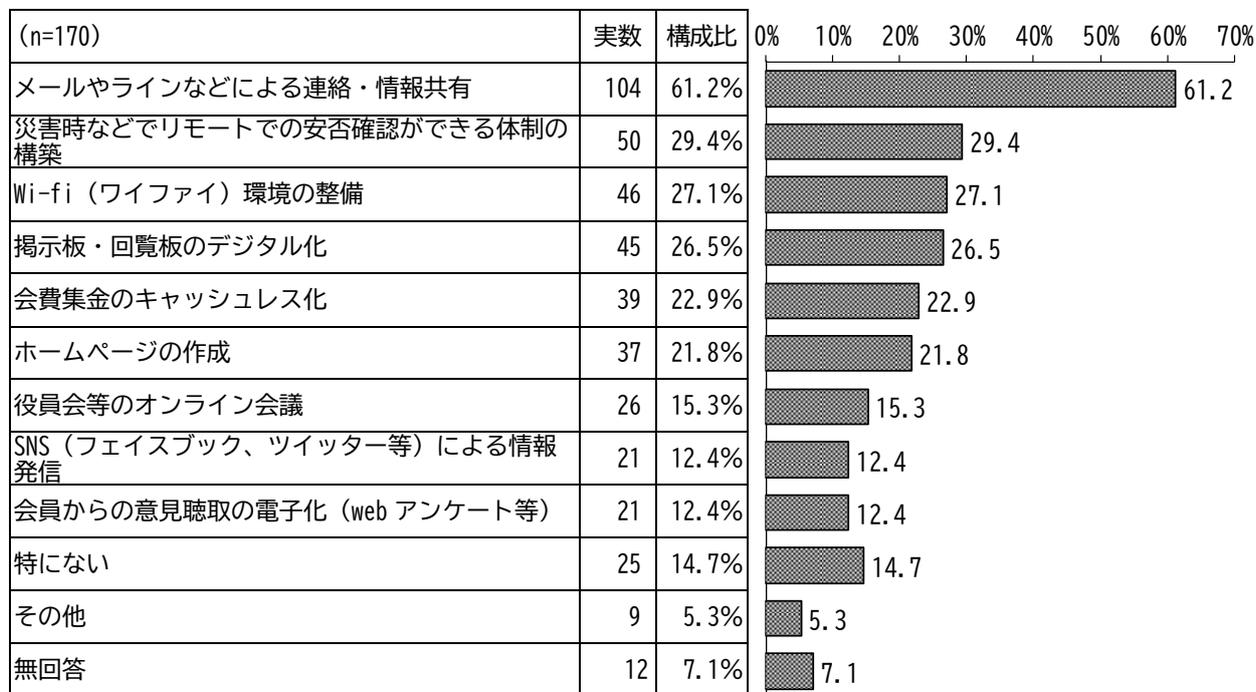
デジタルツールを「利用していない」と回答した 83 団体に今後、デジタルツールを積極的に活用していくことの賛否について尋ねたところ、「とても賛成」(12.0%)と「やや賛成」(33.7%)を合わせた【賛成】は 45.8%であった。「やや反対」(3.6%)と「とても反対」(1.2%)を合わせた【反対】は 4.8%と少ないが、一方で「わからない」が 36.1%と 3 分の 1 強を占めている。

(n=83)	実数	構成比
とても賛成	10	12.0%
やや賛成	28	33.7%
やや反対	3	3.6%
とても反対	1	1.2%
わからない	30	36.1%
無回答	11	13.3%

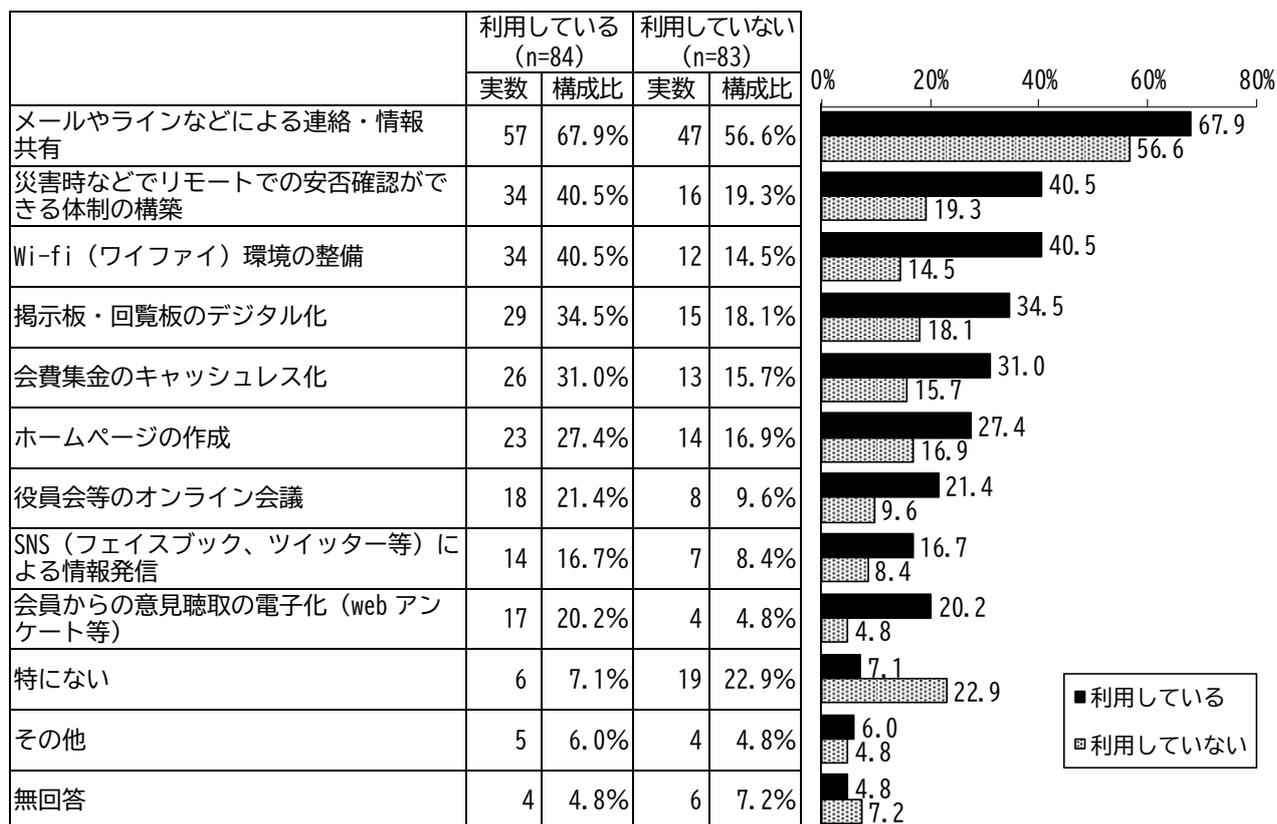


⑥ 今後の町会・自治会活動の中でデジタルツールを活用して取り組んでみたいと思うもの全てに○をご記入ください。【複数回答可】

今後の町会・自治会活動の中でデジタルツールを活用して取り組んでみたいものとしては、「メールやラインなどによる連絡・情報共有」が61.2%と最も多く、次いで「災害時などでリモートでの安否確認ができる体制の構築」(29.4%)、「Wi-fi (ワイファイ) 環境の整備」(27.1%)、「掲示板・回覧板のデジタル化」(26.5%)と続いている。

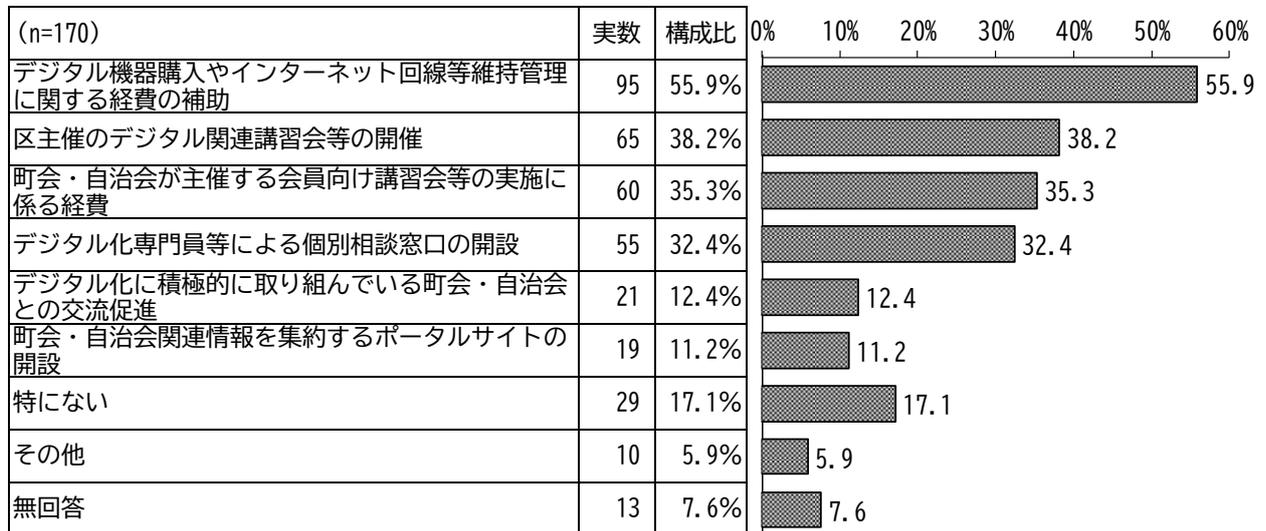


今後の町会・自治会活動の中でデジタルツールを活用して取り組んでみたいものについて、デジタルツール利用状況 (Q9②) 別に見ると、「利用していない」と回答した団体は全般的にデジタルツールを活用した取組への意向が低く、「特にない」が多くなっている。



⑦ 町会・自治会のデジタル化への推進にあたり、どのような支援が必要と考えますか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。【複数回答可】

町会・自治会のデジタル化推進にあたり必要な支援としては、「デジタル機器購入やインターネット回線等維持管理に関する経費の補助」が 55.9%と最も多く、次いで「区主催のデジタル関連講習会等の開催」(38.2%)、「町会・自治会が主催する会員向け講習会等の実施に係る経費」(35.3%)、「デジタル化専門員等による個別相談窓口の開設」(32.4%)と続いている。



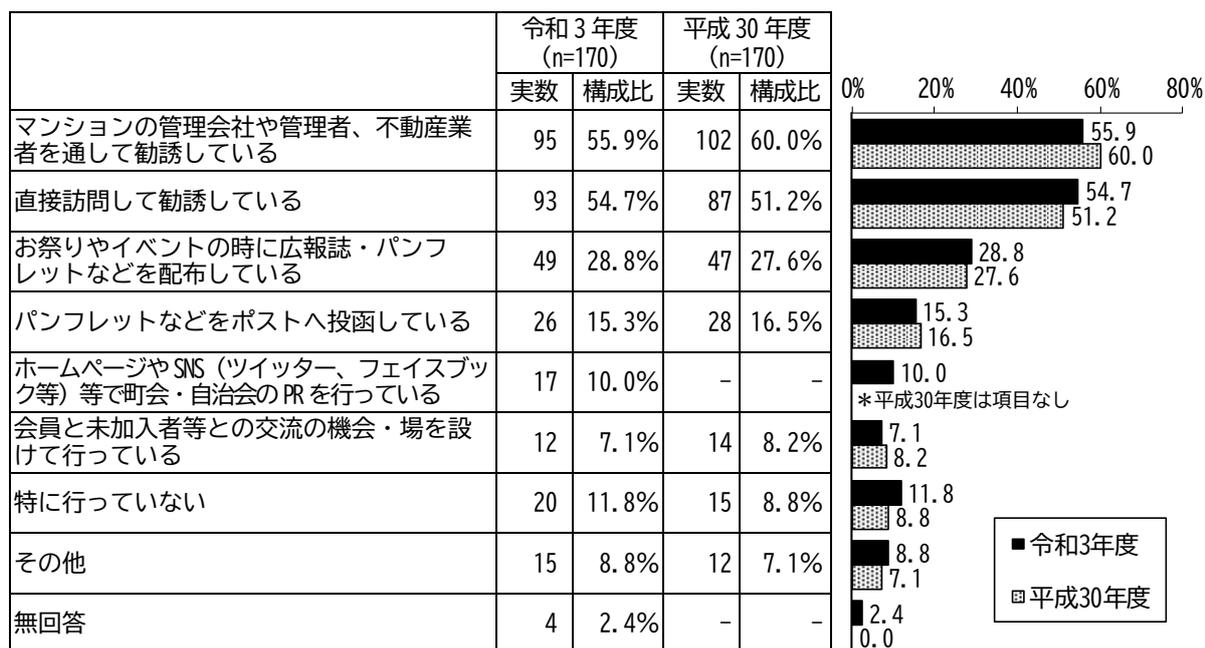
3 町会・自治会の「加入促進活動」について

(1) 未加入者への加入呼びかけについて

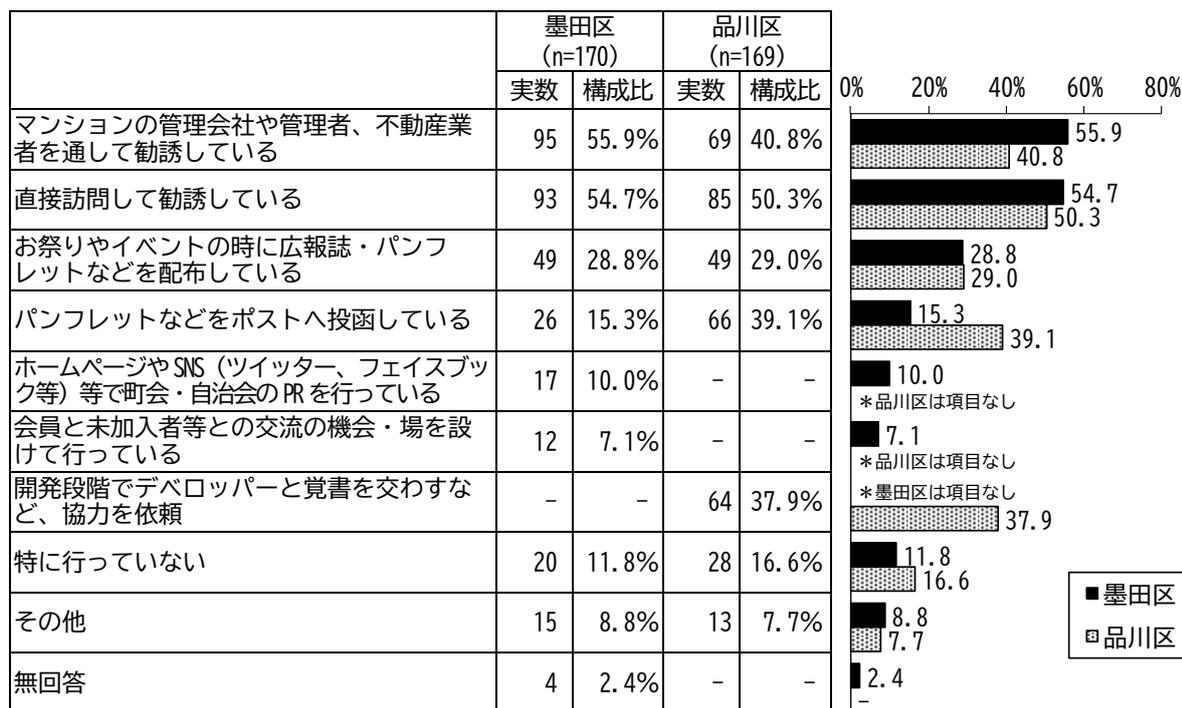
Q10 町会・自治会未加入者への加入呼びかけは行っていますか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。【複数回答可】

未加入者への加入呼びかけについては、「マンションの管理会社や管理者、不動産業者を通して勧誘している」が55.9%と最も多く、次いで「直接訪問して勧誘している」(54.7%)、「お祭りやイベントの時に広報誌・パンフレットなどを配布している」(28.8%)と続いている。

平成30年度調査と比較すると、「マンションの管理会社や管理者、不動産業者を通して勧誘している」が今回やや低くなっている他は傾向に大きな違いは見られなかった。



未加入者への加入呼びかけについて、品川区調査との比較を行ったところ、下記のような結果であった。



※品川区「令和3年度 町会・自治会活動活性化促進調査」（令和3年12月）より作成。

※「マンションの管理会社や管理者、不動産業者を通して勧誘している」は、品川区調査では「マンションの管理会社や管理人を通して勧誘」で実施。

※「お祭りやイベントの時に広報誌・パンフレットなどを配布している」は、品川区調査では「イベントでパンフレットなどを配布」で実施。

(2) 新たに加わった方々に対する対応について

Q11 貴町会・自治会に新たに加わった方々に対するその後の対応についてお伺いします。

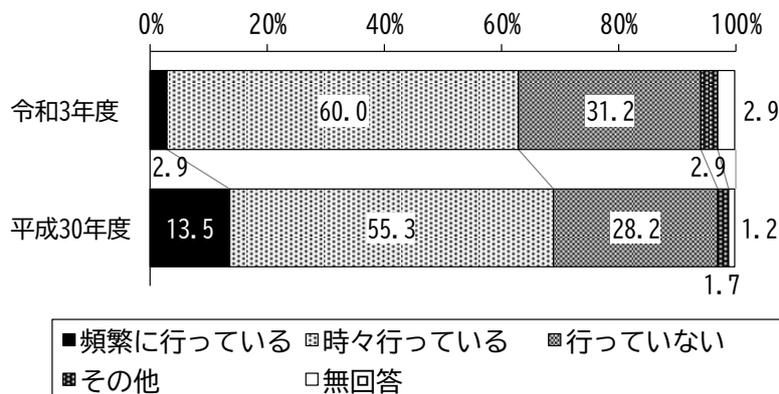
- ① 貴町会・自治会に新たに加わった方々が、地域にうまく溶け込むための工夫は自主的に行っていますか。最も近いもの1つに○をご記入ください。

「頻繁に行っている」(2.9%)と「時々行っている」(60.0%)を合わせた【行っている】は62.9%、「行っていない」は31.2%であった。

平成30年度調査では、「頻繁に行っている」が13.5%であったが、今回の調査では2.9%と10.6ポイント低くなった。

	令和3年度 (n=170)		平成30年度 (n=170)	
	実数	構成比	実数	構成比
頻繁に行っている	5	2.9%	23	13.5%
時々行っている	102	60.0%	94	55.3%
行っていない	53	31.2%	48	28.2%
その他	5	2.9%	3	1.7%
無回答	5	2.9%	2	1.2%

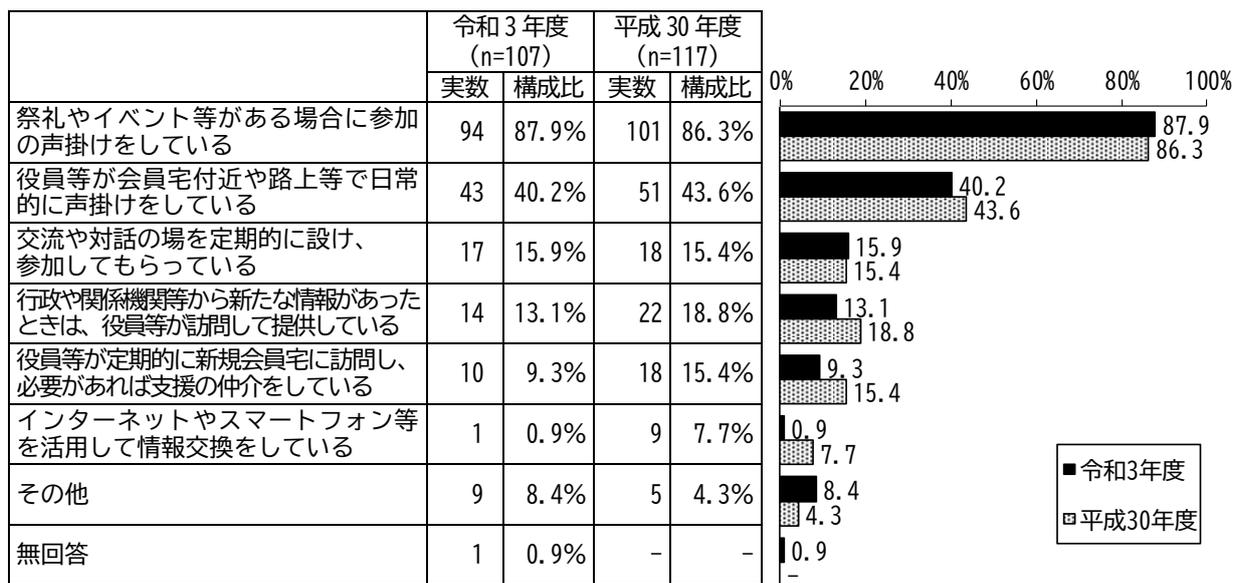
※平成30年度調査については「積極的には行っていない」と「全く行っていない」を合計し、「行っていない」として集約した。



② 新規会員に対し、具体的にはどのようなことを行っていますか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。[複数回答可]

新規会員が地域にうまく溶け込むための工夫を「頻繁に行っている」、「時々行っている」と回答した 107 団体に具体的に行っていることについて尋ねたところ、「祭礼やイベント等がある場合に参加の声掛けをしている」が 87.9%と最も多く、次いで「役員等が会員宅付近や路上等で日常的に声掛けをしている」(40.2%)、「交流や対話の場を定期的に設け、参加してもらっている」(15.9%)と続いている。

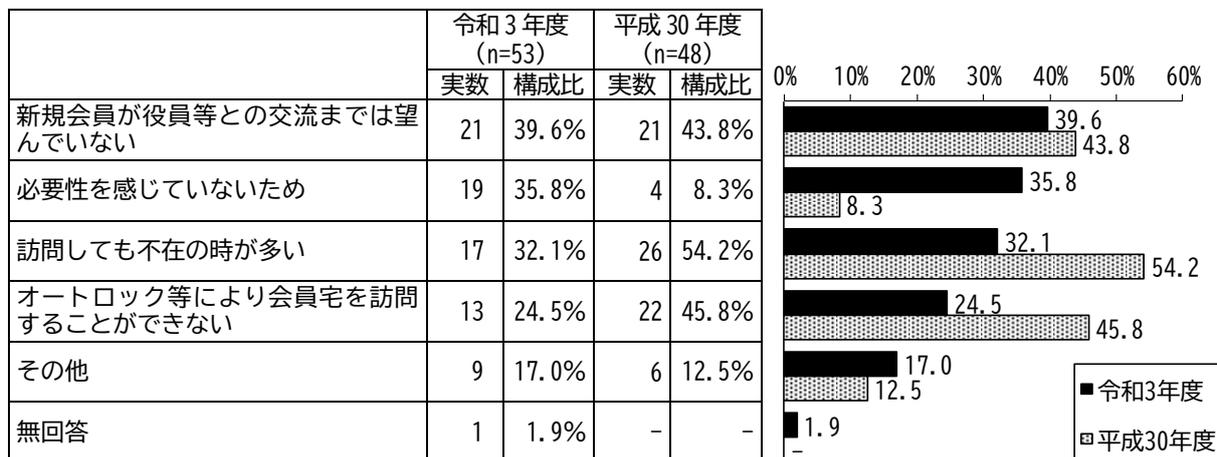
平成 30 年度調査と比較すると、「行政や関係機関等から新たな情報があったときは、役員等が訪問して提供している」、「役員等が定期的に新規会員宅に訪問し、必要があれば支援の仲介をしている」、「インターネットやスマートフォン等を活用して情報交換をしている」の 3 項目で今回の調査では 5 ポイント以上低くなった。



③ 新規会員に対し、具体的な対応を行っていないのはなぜですか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。[複数回答可]

新規会員が地域にうまく溶け込むための工夫を「行っていない」と回答した 53 団体にその理由について尋ねたところ、「新規会員が役員等との交流までは望んでいない」が 39.6%と最も多く、次いで「必要性を感じていないため」(35.8%)、「訪問しても不在のことが多い」(32.1%)と続いている。

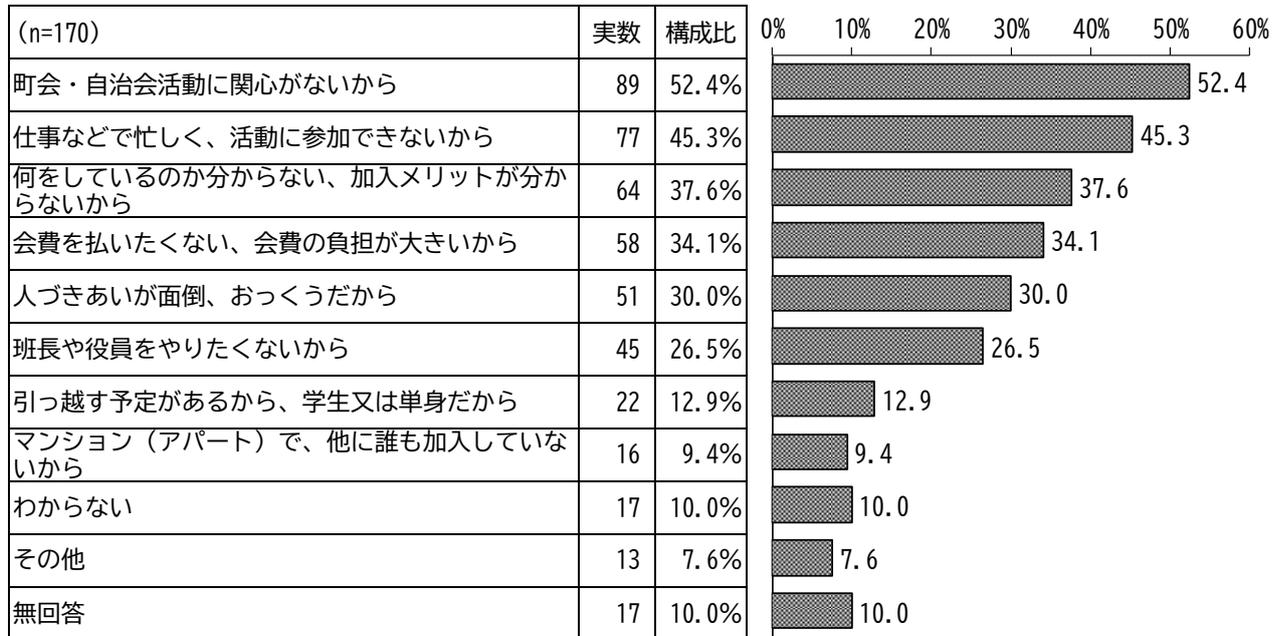
平成 30 年度調査と比較すると、「訪問しても不在のことが多い」と「オートロック等により会員宅を訪問することができない」の 2 項目は今回の調査では 20 ポイント以上低くなり、「必要性を感じていないため」が今回の調査では 27.5 ポイント高くなった。



(3) 加入を断られた際の理由について

Q12 加入を断られた際の理由として、多いものは何ですか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。【複数回答可】

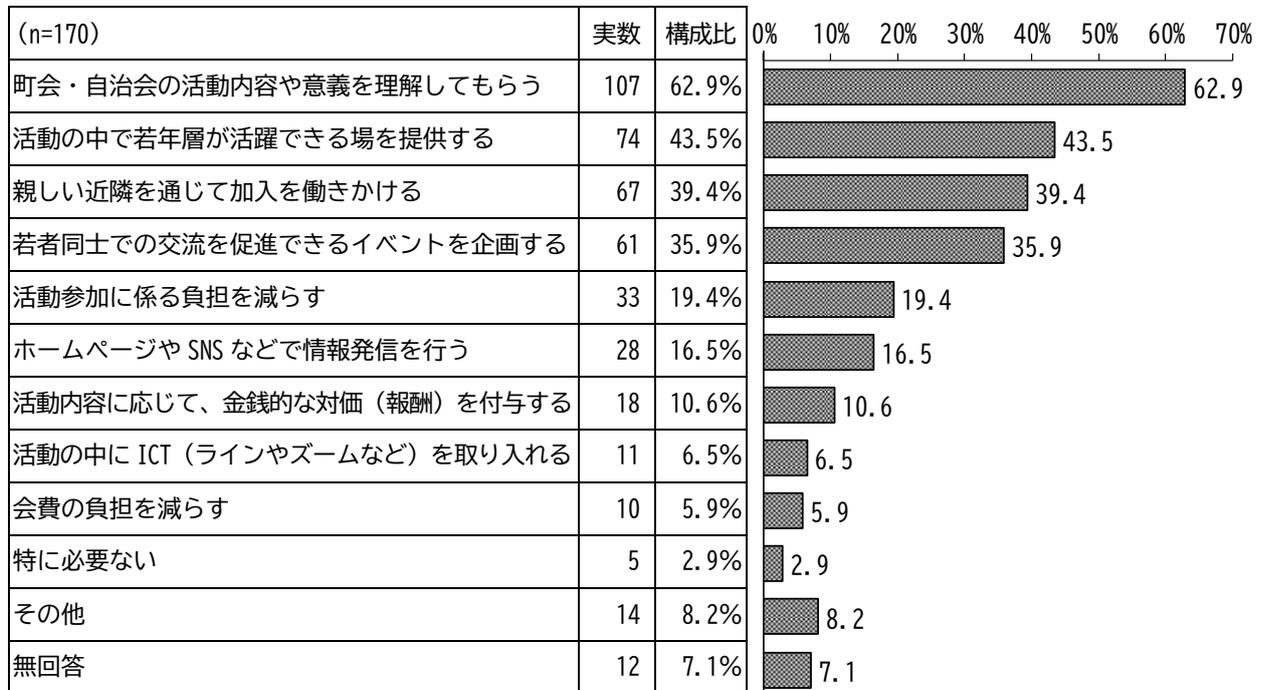
加入を断られた際の理由で多いものとしては、「町会・自治会活動に関心がないから」が52.4%と最も多く、次いで「仕事などで忙しく、活動に参加できないから」(45.3%)、「何をしているのか分からない、加入メリットが分からないから」(37.6%)と続いている。



(4) 若年層の未加入者に対し必要だと思うこと

Q13 若年層（20～50代）の未加入者に対し、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。〔複数回答可〕

若年層の未加入者に対し、必要だと考えることとしては、「町会・自治会の活動内容や意義を理解してもらう」が62.9%と最も多く、次いで「活動の中で若年層が活躍できる場を提供する」（43.5%）、「親しい近隣を通じて加入を働きかける」（39.4%）と続いている。



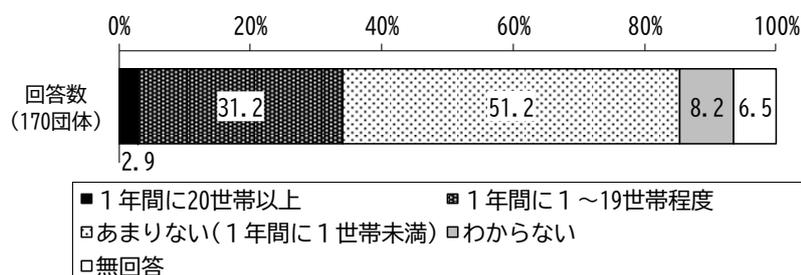
(5) 加入者の退会について

Q14 加入者の退会についてお伺いします。

① 加入者の退会件数（区域外への転出除く）について、最も近いもの1つに○をご記入ください。

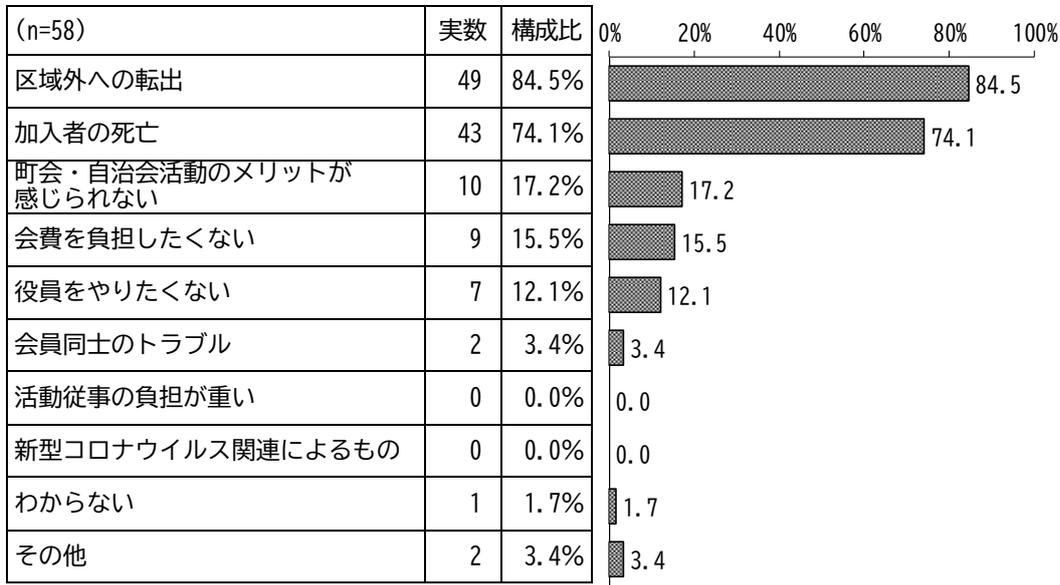
退会件数については、「あまりない（1年間に1世帯未満）」が51.2%と最も多く、次いで「1年間に1～19世帯程度」が31.2%となっている。

(n=170)	実数	構成比
1年間に20世帯以上	5	2.9%
1年間に1～19世帯程度	53	31.2%
あまりない（1年間に1世帯未満）	87	51.2%
わからない	14	8.2%
無回答	11	6.5%



② 加入者が退会する理由として多いもの3つまで○をご記入ください。

退会件数が1年間に1世帯以上あると回答した58団体に退会理由を尋ねたところ、「区域外への転出」が84.5%と最も多く、次いで「加入者の死亡」が74.1%、「町会・自治会活動のメリットが感じられない」が17.2%と続いている。



※4つ以上回答の場合も有効とした。

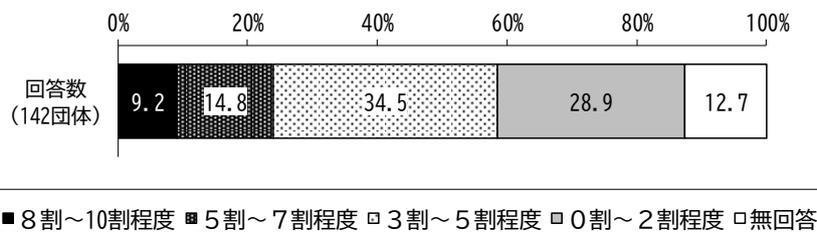
(6) 集合住宅の加入促進について

Q15 集合住宅の加入促進に関することについて伺います。[※町会(142団体)のみ回答]

① 全会員に対する集合住宅入居者の会員の割合について、最も近いもの1つに○をご記入ください。

「3割～5割程度」が34.5%と最も多い。また、5割～10割と回答した団体は23.9%であった。

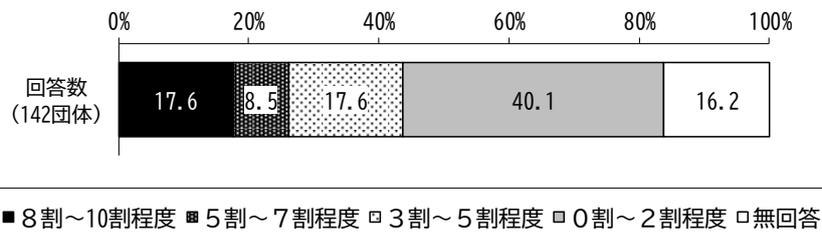
(n=142)	実数	構成比
8割～10割程度	13	9.2%
5割～7割程度	21	14.8%
3割～5割程度	49	34.5%
0割～2割程度	41	28.9%
無回答	18	12.7%



② 過去3年間に新築で建設された集合住宅に対し、町会に加入した割合について、最も近いもの1つに○をご記入ください。

過去3年間に新築された集合住宅に対し、町会に加入した割合としては、「0割～2割程度」が40.1%と最も多い。また、0割～5割と回答した団体は57.7%と6割近くとなっている。

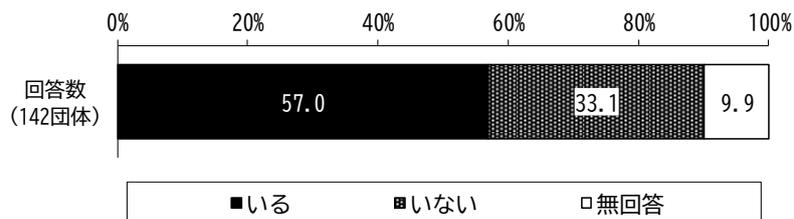
(n=142)	実数	構成比
8割～10割程度	25	17.6%
5割～7割程度	12	8.5%
3割～5割程度	25	17.6%
0割～2割程度	57	40.1%
無回答	23	16.2%



③ 集合住宅居住者で個々に加入している会員はいますか。

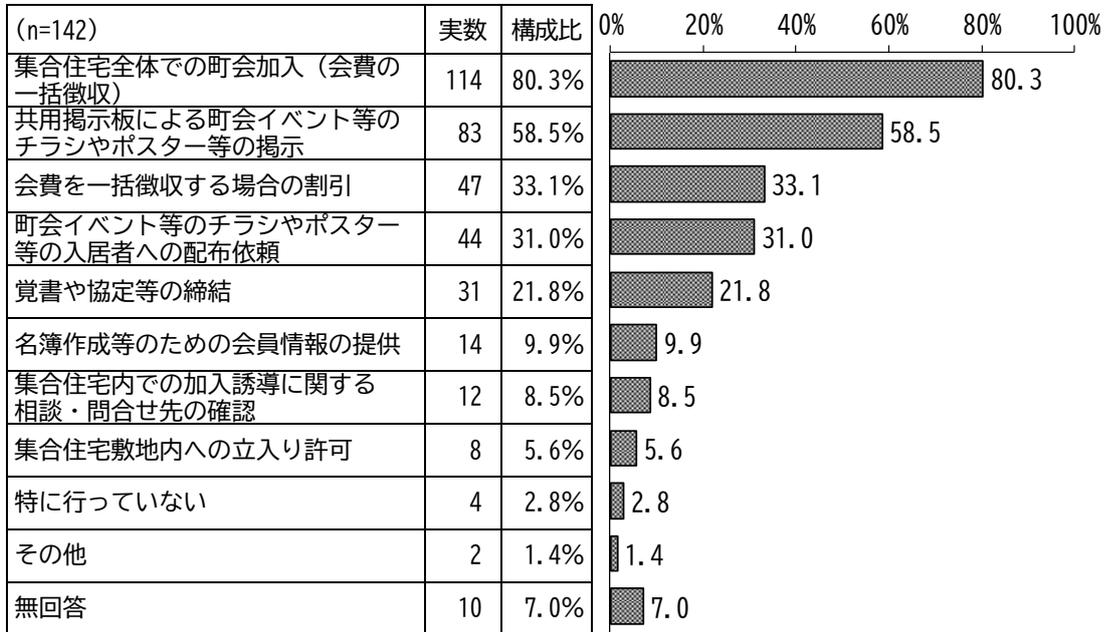
集合住宅居住者で個々に加入している会員については、「いる」と回答した団体が57.0%であった。

(n=142)	実数	構成比
いる	81	57.0%
いない	47	33.1%
無回答	14	9.9%



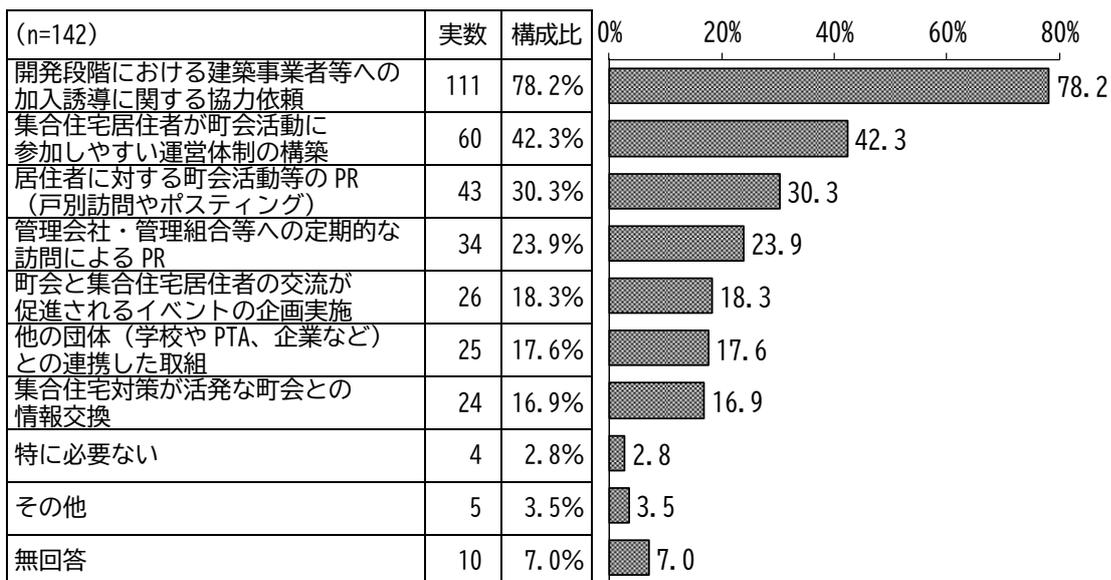
④ 集合住宅の加入促進に関し、事業者（ディベロッパー、管理会社等）に対して貴町会が働きかけていることについて、あてはまるもの全てに○をご記入ください。[複数回答可]

集合住宅の加入促進に関し、事業者に働きかけていることとしては、「集合住宅全体での町会加入（会費の一括徴収）」が 80.3%と最も多く、次いで「共用掲示板による町会イベント等のチラシやポスター等の掲示」（58.5%）、「会費を一括徴収する場合の割引」（33.1%）と続いている。



⑤ 集合住宅における加入促進対策として必要だと思うこと全てに○をご記入ください。

集合住宅の加入促進対策として必要だと思うこととしては、「開発段階における建築事業者等への加入誘導に関する協力依頼」が 78.2%と最も多く、次いで「集合住宅居住者が町会活動に参加しやすい運営体制の構築」（42.3%）、「居住者に対する町会活動等の PR（戸別訪問やポスティング）」（30.3%）と続いている。



4 町会・自治会の「運営に関する課題」について

Q16 貴町会・自治会の運営に関する課題にはどのようなものがありますか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。[複数回答可]

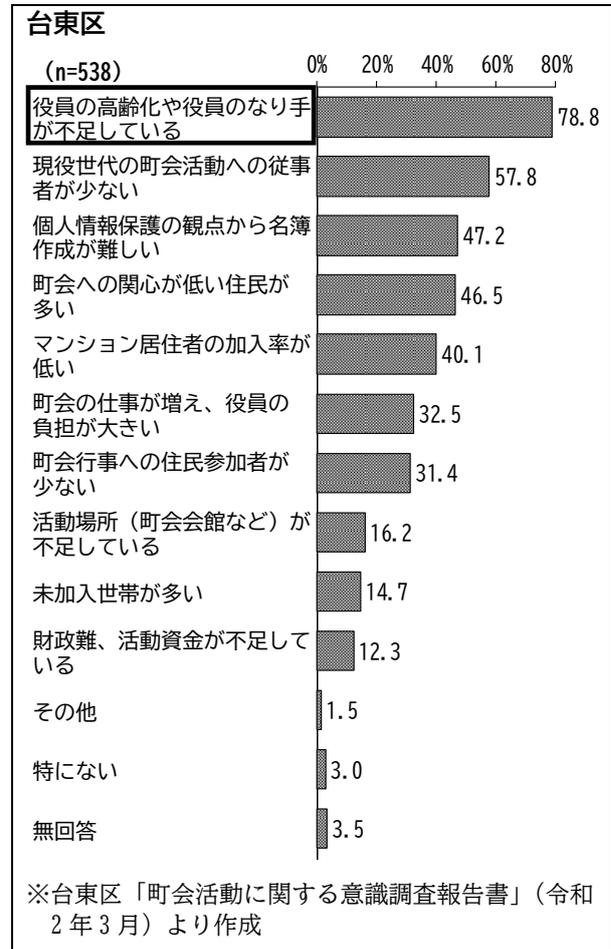
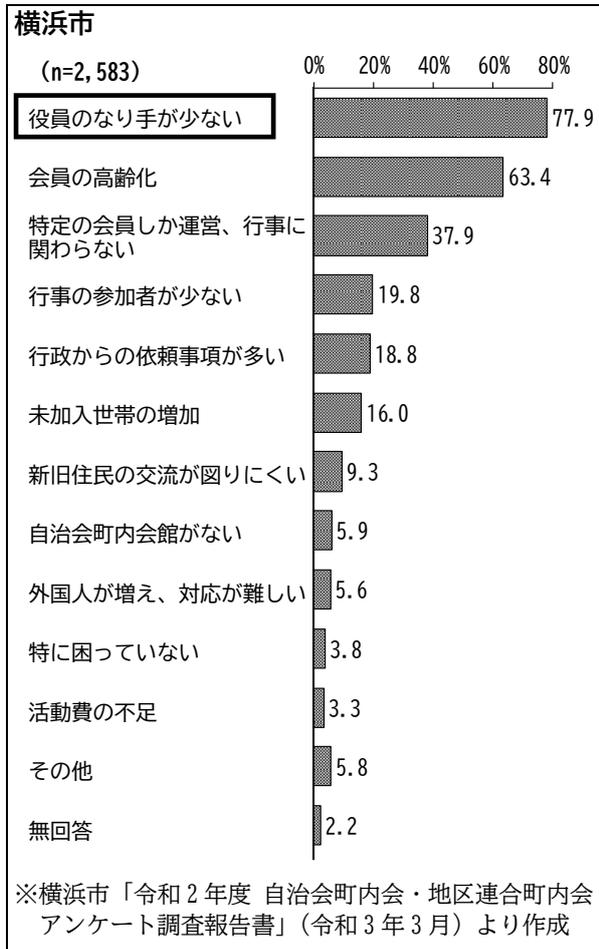
運営に関する課題としては、「役員の高齢化」が75.3%、「若手人材不足」が68.8%と、役員等の新旧交代が進んでいない状況を挙げる団体が多く、そうした状況が「活動の参加者が少ない」(51.8%)、「活動内容が慣例化している」(43.5%)、「住民の関心が少ない」(42.4%)といった住民の関心の低さや運営の硬直化を招いていることがうかがえる。また、「新型コロナの影響で活動ができない」は54.1%の団体が課題として挙げている。

平成30年度調査では、令和3年度調査の上位3項目を聴取していないため単純に比較することは難しいが、「住民の関心が少ない」が51.2%と最も多く、次いで「活動の参加者が少ない」(50.0%)、「活動内容が慣例化している」(45.3%)と続いている。



運営に関する課題について、他自治体調査との比較を行った。

選択肢が異なるため単純に比較することは難しいが、役員のなり手不足や高齢化はいずれの自治体においても共通の課題となっていると考えられる。



【表】 Q16 選択肢に対する自由意見（主な意見抜粋）

- ・書面による回答と聴き取りの内容を選択肢ごとに分類し、集計した。なお、一つの回答が複数の内容に渡る場合は複数回答としてそれぞれの項目へ分類している。
- ・本表では自由意見の回答件数が多い選択肢から順に掲載していること等から、選択回答のアンケートと掲載順が異なる。

Q16 貴町会・自治会の運営に関する課題にはどのようなものがありますか。
<p>役員の高齢化（47件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員の高齢化、なり手不足 ・役員は若くて60歳、上は80歳。町会に若い人はいるが、加入しているだけで活動はしてくれない。 ・役員が高齢者ばかりで今後の活動が不安である。
<p>新型コロナの影響で活動ができない（40件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年連続で祭りが中止になったのは残念だった。交流できる機会が減ってしまった。 ・行事の開催について、まだ早いという意見があり、役員も他の住民から説明を求められたり、責められたりしてしまう。 ・コロナの影響で役員会すら開催できていない状況である。 ・新型コロナウイルスの影響で、防災訓練が例年のように実施できないのが悩みである。 ・イベントや会合などの町会活動に関する新型コロナウイルスへの対応について、今年は実施しているが判断に迷う。町会に判断を任せるのではなく、明確な方針を示してほしい。 ・感染予防対策を講じ、小規模な地域活動の実践を試みたが、「コロナ感染の危惧からやめてほしい」との苦情が区に入り、何も出来なかった。 ・コロナ禍で例会や飲み会も行われなかったため、本音を聞ける機会がなくなった。
<p>活動の参加者が少ない（23件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年におけるマンション等の会員加入数が多いが、行事への参加者はほとんどいない。 ・自営業が減って、サラリーマンが増えて町会活動を難しくしている。 ・行事を実施しても参加者が少なく、役員だけでやっている感じがある。 ・若い人は仕事優先で協力が難しい。特に集合住宅（ワンルーム）の方は参加しない。 ・女性の活動への参加が少ない。 ・交流会で参加者が少ない、特に若い人、家族単位での参加がない。
<p>若手人材不足（23件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手が少なく、祭りが盛り上がらない。 ・何か若年層（40代）が活躍出来る場がほしい。 ・若手について、町会活動の手伝い、応援はしてもらえるが、役員にはなってくれない。 ・若年層や後継者もおらず、このままでは町会の存続が危ぶまれる。 ・若い方は昼間に仕事をしている。日中は時間が取れず、町会活動ができない。
<p>住民の関心が少ない（9件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人たちは町会への関心がない。 ・町会入会は、通常時であればメリットはあまりないかもしれないが、もしもの時に協力や助け合いがあることを説明しているが、なかなか理解してもらえないことが多い。 ・町会・自治会に対する関心があまりない。何のために自治会・町会があるのかわからない人が多い。

<p>予算が不足している（9件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいことをやりたいが、予算がない。 ・予算内で活動しているが、厳しい時もある。 ・集合住宅もあり、町会費の集金に苦勞している。町会費支払いだけでも条例で義務化できないか。 ・予算がほとんどなく、やりたい事が出来ない。ほとんどが共益費となっている。 ・新規の住民に関して、町会費の徴収が難しい。なかなか払ってくれない。
<p>未加入世帯が多い（8件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未加入が増えている。単身のため、高齢のため、年金生活のため、親がやめるので、等の理由で町会をやめる。地縁やお隣との関わり合いが薄れている。 ・お祭りをきっかけに若い世帯が入会してくれていたが、お祭りが全くできず新規入会が期待できない。 ・地域にマンションが建設されているが賃貸が多く、新規に加入してくる町会員もいない。 ・加入率が少なく、未加入者に聞くとメリットが無いと言われている。
<p>新旧住民の交流が難しい（6件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方は増えていると思うが、昔から住んでいる人が少なくなっており、コミュニケーションが取れない。どうすればよいかわからない。 ・旧住民（店舗兼住居、一戸建て住宅）と新住民（賃貸集合住宅）の交流がない。
<p>外国人住民との交流が難しい（6件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人から接触する気がない。 ・外国人が増えてきて、文化の違いから町会への加入を拒まれる。 ・自治会全体で1割程度の外国人が居住しているが、一部の外国人住民は注意してもごみ捨てのルールを守らない。
<p>会員情報の入手（名簿更新等）が難しい（5件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会の名簿作成が法律で義務付けられているが、個人情報保護との関係について、行政機関からの指導等が必要。 ・マンションが建設され町会の構成員が変わってきたが、個人情報の関係で誰が住んでいるのか分からない。 ・個人情報の問題があるので難しいと思うが、75歳以上の独り暮らしの名簿があると良い。町会でも把握に努めているが十分ではない。 ・個人情報の観点から、町会名簿も作っておらず、節目の祝いもできない。
<p>活動内容が慣例化している（4件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動が慣例化している。役員が勝手にやっていると思われる。
<p>活動のPRが不足している（4件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板を回しても読まれない。 ・SNS発信にしても得意な方はいるだろうが、誰がそれを見るのか不確実であり、効果に疑問。 ・活動を広く伝えることが上手くできていない。 ・若手がいれば機関紙などもパソコンで作成するなど効率化が図れるが人材不足である。

世代間交流が難しい (3件)
<ul style="list-style-type: none"> ・役員が高齢化し、世代間の交流が難しい。 ・若い人との関係を持つことが難しい。子どもも少ない。高齢化で町会行事に参加できなくなっている。
他の組織・人材との連携が弱い (3件)
<ul style="list-style-type: none"> ・婦人部の活動が活発である。役員に女性を積極的に充てていきたい。 ・高齢者の見守り活動を引き続き高齢者支援総合センターと一緒に実施していきたい。
活動の指導者がいない (2件)
<ul style="list-style-type: none"> ・町会行事等の担い手の不足 (若手世代は、仕事で忙しい)。
活動や会議をする場所が少ない (2件)
<ul style="list-style-type: none"> ・会議場所があったが、大学誘致のため地元集合場所がない。
他の地域との連携が弱い (1件)
<ul style="list-style-type: none"> ・町会の存続が心配。周辺町会に合併の話をした。
活動のための情報が不足している (1件)
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の参加者が少なく、どのような活動をすれば良いかわからない。
町会・自治会単体での活動継続が難しい (1件)
<ul style="list-style-type: none"> ・町会の単位が小さいため、今後存続が厳しくなるのではないかと。
その他
<p>集合住宅の加入促進等について (25件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンションが建つ前に、管理組合への働きかけを区が行ってほしい。 ・新規マンションに対する町会加入 (町会費) の有効策が一向になく、町会活動もいよいよ曲がり角に来ている。 ・管理会社から町会費が高いと言われ、安くするか、マンション全体でいくらとするか、理事会で議論している。 <p>役員のなり手がいない (11件)</p> <p>回覧・掲示物が多すぎる (4件)</p>

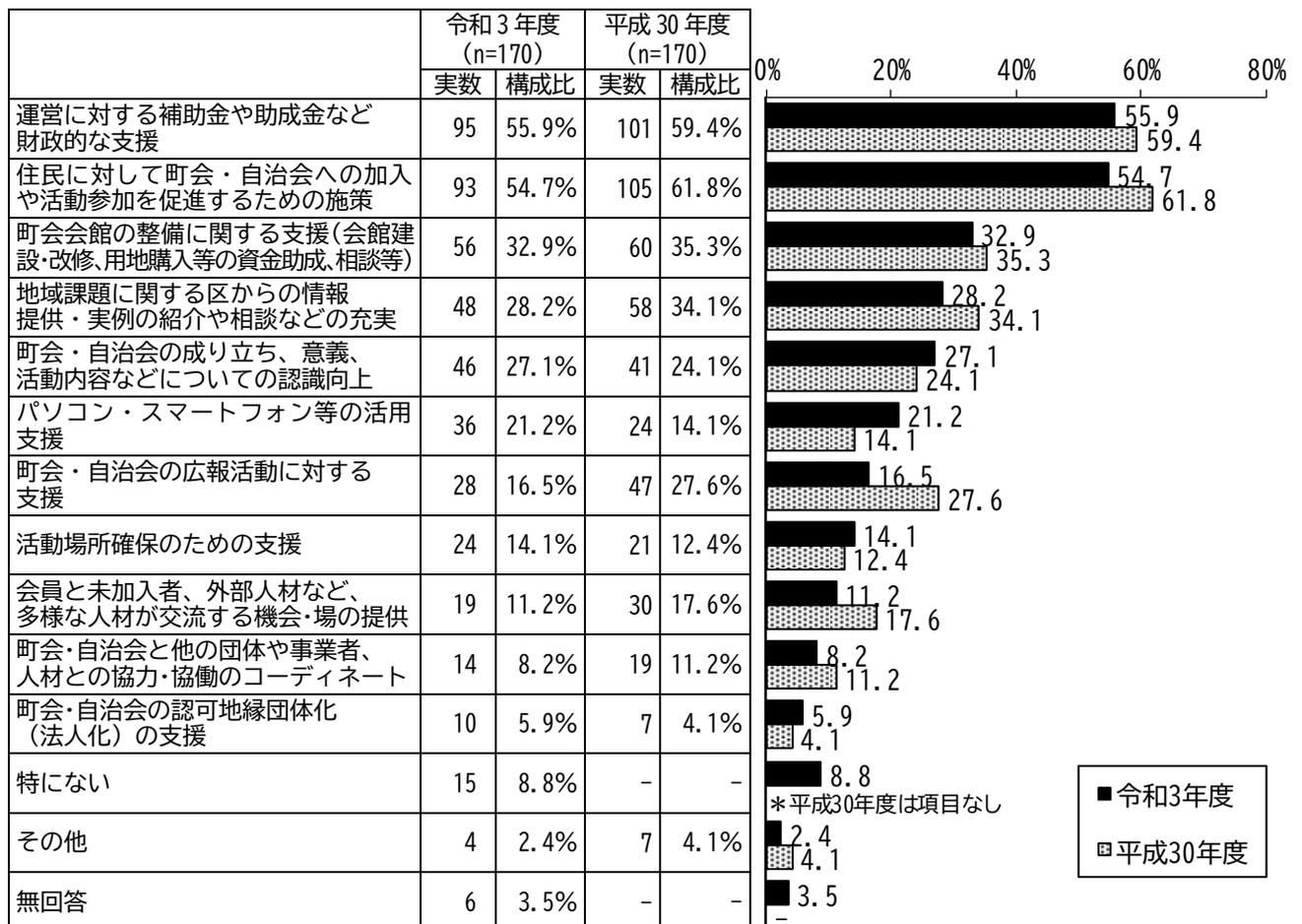
5 町会・自治会の「行政との協働」について

(1) 行政に実施してもらいたい支援や協力

Q17 貴町会・自治会が行政に実施してもらいたい支援や協力は何ですか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。【複数回答可】

行政に実施してもらいたい支援や協力としては、「運営に対する補助金や助成金など財政的な支援」(55.9%)と「住民に対して町会・自治会への加入や活動参加を促進するための施策」(54.7%)の2項目が5割を超えて高い。一方で、「会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場の提供」(11.2%)、「町会・自治会と他の団体や事業者、人材との協力・協働のコーディネート」(8.2%)といったソフト面の支援への希望は相対的に少ない。

平成30年度調査と比較すると、「パソコン・スマートフォン等の活用支援」が今回は7.1ポイント高くなり、「町会・自治会の広報活動に対する支援」「住民に対して町会・自治会への加入や活動参加を促進するための施策」「会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場の提供」「地域課題に関する区からの情報提供・実例の紹介や相談などの充実」の4項目では今回は5ポイント以上低くなった。



【表】 Q17 選択肢に対する自由意見（主な意見抜粋）

- ・書面による回答と聴き取りの内容を選択肢ごとに分類し、集計した。なお、一つの回答が複数の内容に渡る場合は複数回答としてそれぞれの項目へ分類している。
- ・本表では自由意見の回答件数が多い選択肢から順に掲載していること等から、選択回答のアンケートと掲載順が異なる。

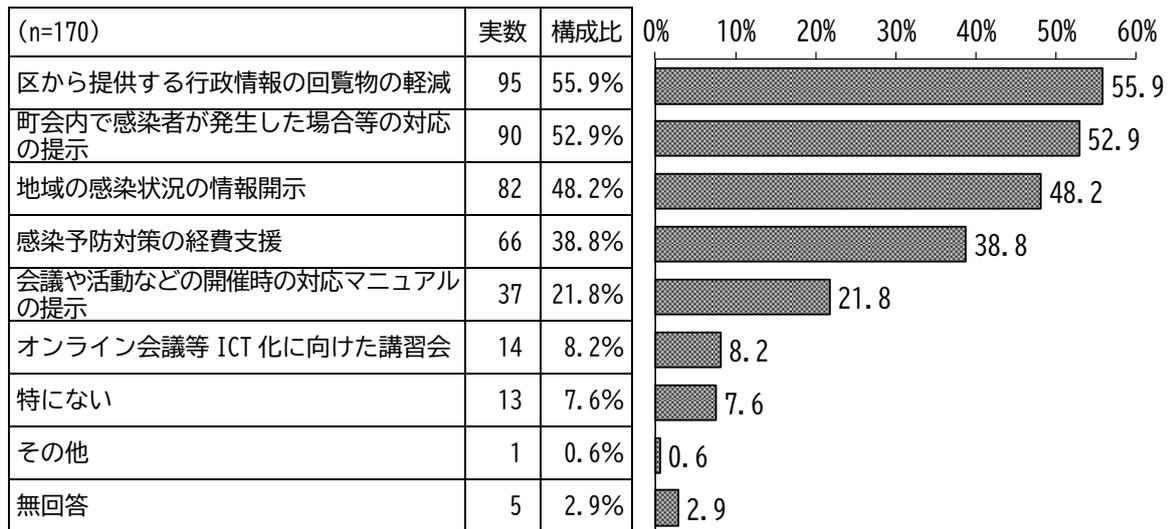
Q17 貴町会・自治会が行政に実施してもらいたい支援や協力は何か。
町会・自治会の広報活動に対する支援（19件）
<ul style="list-style-type: none"> ・送付されるパンフレットや掲示物が多すぎる。もっと厳選して少なくしてもらえないか。 ・役所からの回覧物が多い。少なくできないのか。 ・町会の広報活動支援のため、区 HP に町会の掲示板を作成してほしい。 ・情報発信の仕方をアドバイスしてほしい。掲示板にお知らせを張っているだけではなかなか興味を持ってもらえない。だからと言って、SNS など手段もハードルが高い。
町会会館の整備に関する支援（会館建設・改修、用地購入等の資金助成、相談等）（15件）
<ul style="list-style-type: none"> ・町会会館がないため、何らか活動場所の提供につながる支援があるとありがたい。 ・町会会館の備品修繕費、補助サイクルの短縮（緊急に対応しなければならない場合有）。 ・用地購入等の資金助成の金額を増やしてほしい。
住民に対して町会・自治会への加入や活動参加を促進するための施策（15件）
<ul style="list-style-type: none"> ・新築の賃貸マンションに、以前区が作成した町会加入促進のパンフレットを配布したが効果はなかった。他の方法はないか。 ・会員加入促進のリーフレットは大変役に立った（転入者の加入に繋がった例あり）。 ・若い人たちが町会活動に興味を持ってくれるような工夫をアドバイスしてほしい。
パソコン・スマートフォン等の活用支援（11件）
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者はスマホの扱いが苦手なため、スマホの操作についての支援が欲しい。 ・PC やスマートフォンなどデジタル対応への支援をお願いしたい。 ・PC などは使える人が限られている。行政で講習会を開催してもらっても、そもそも参加しようとならないので、意味がない。
運営に対する補助金や助成金など財政的な支援（9件）
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金・助成金を増やしてほしい。今以上に様々なイベントなどを考えられる。 ・Wi-Fi を設置したい。今は個人が作成したものを印刷してもらっている。パソコンを購入して、町会の資料をデータで残したい。購入費の助成があると良い。
活動場所確保のための支援（8件）
<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所がないので提供してもらいたい。 ・20人程度集まれる場所がない。近所で集会ができるある程度広い場所を紹介してほしい。
町会・自治会の成り立ち、意義、活動内容などについての認識向上（7件）
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の協力体制や子ども会の活動など町会の意義についてもっと積極的に PR してほしい。 ・町会の意義、活動内容などの認識向上に関して、町会加入のメリットを伝えてほしい。
町会・自治会の認可地縁団体化（法人化）の支援（6件）
<ul style="list-style-type: none"> ・法人化に向けて、「過半数の承認」が困難なため、要件を緩和してほしい。 ・近隣町会の法人化が進んでいる様子であるが、役員のお多くは必要性を認識していないので、啓発等の支援も必要である。 ・法人化するリスクはあるのか？が良くわからない。

<p>地域課題に関する区からの情報提供・実例の紹介や相談などの充実（４件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の町会がどのような活動を行っているか良い取り組みは紹介してほしい。 ・区から他の町会・自治会の取り組み事例について情報提供を受けるが、町会内で協力体制を構築することができない。
<p>町会・自治会と他の団体や事業者、人材との協力・協働のコーディネート（２件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会運営が高齢化や人材不足になった時の町会連携や合併調整役、指導役を行政の名があればよりスムーズになるかなと考えています。
<p>会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場の提供（１件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場の提供。
<p>その他</p> <p>防災関係の支援（１０件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員対象の防災講習会でなく、一般会員を対象にした体験等の講習会を開いて、災害の恐ろしさや対応準備等について説明願いたい。町会役員からの説明では理解が得られない。 ・防災訓練の予算がもう少し多ければいいと思う。いろいろなことができるから。 <p>集合住宅の加入促進に対する支援（９件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンション建設に際して業者が区に建築申請する時点で覚書等を町会と交わすよう指導してほしい。 ・ワンルームマンション対策をもっと強制的に行ってほしい（条例、義務化など）。 ・マンション建設や建物の新築の際に、建主などに町会加入を促す際、区と町会が連携して加入に向けて説得をして欲しい。 <p>助成金等の手続きについて（５件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成をする際の手続きを簡素化して欲しい。 ・各種補助金について手続きが良くわからない。

(2) コロナ禍において行政に実施してもらいたい支援や協力

Q18 特にコロナ禍において、貴町会・自治会が行政に実施してもらいたい支援や協力は何ですか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。【複数回答可】

特にコロナ禍において行政に実施してもらいたい支援や協力としては、「区から提供する行政情報の回覧物の軽減」が 55.9%と最も多く、次いで「町会内で感染者が発生した場合等の対応の提示」(52.9%)「地域の感染状況の情報開示」(48.2%)と続いている。



【表】 Q18 選択肢に対する自由意見（主な意見抜粋）

- ・書面による回答と聴き取りの内容を選択肢ごとに分類し、集計した。なお、一つの回答が複数の内容に渡る場合は複数回答としてそれぞれの項目へ分類している。
- ・本表では自由意見の回答件数が多い選択肢から順に掲載していること等から、選択回答のアンケートと掲載順が異なる。

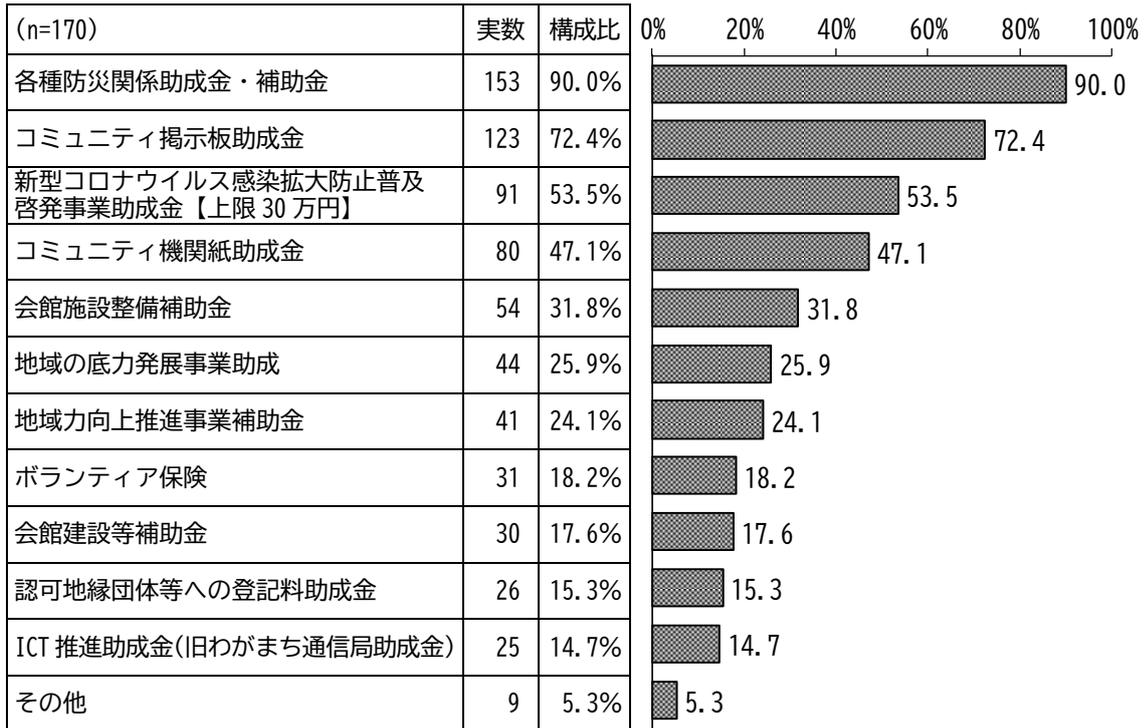
Q18 特にコロナ禍において、貴町会・自治会が行政に実施してもらいたい支援や協力は何か。
地域の感染状況の情報開示（34件） <ul style="list-style-type: none"> ・地域の感染状況の開示をしてもらいたいと思っていたが、反面、犯人捜しに繋がったり、差別を助長してしまうかもしれない。情報の取り扱いは難しいと思う。 ・地域の感染状況の情報については、なるべく地域を絞って開示してほしい。 ・個人が特定できない範囲で、町会内の感染状況を知らせてほしい。 ・地域での感染状況を教えてほしい。墨田全域での状況だけでは、対応のしようがない。せめて町単位での情報が欲しい。
区から提供する行政情報の回覧物の軽減（26件） <ul style="list-style-type: none"> ・情報としては必要だろうが、行政からの回覧物が多すぎる。 ・区からの提供する行政情報の回覧物が役員の負担となることから、軽減または合理化してほしい。 ・回覧物については、送付される時期及び掲示期間がまちまちなので、管理が大変である。送付回数や送付物を集約して、多くても月2回程度にしてくれると助かる。また、掲示板が小さいので更新時に掲示板を大きくするような対応をしてほしい。
町会内で感染者が発生した場合等の対応の提示（12件） <ul style="list-style-type: none"> ・町会内で感染者が出た場合に、町会に対する一定の情報があると良い。また、町会のとるべき対応についての情報が欲しい。 ・できることは限られるが、感染症対策での町会の役割を提示してほしい。
感染予防対策の経費支援（12件） <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策として、マスク、消毒液・買い物券を配布しており、経費支援をお願いしたい。 ・感染症対策の経費支援は必要と考えるが、町会によって規模が異なるので、配慮が必要。
会議や活動などの開催時の対応マニュアルの提示（4件） <ul style="list-style-type: none"> ・町会のマニュアルがない。活動が成り立たない。縮小して実施したものも多かった。具体的な安全策や基準を提示してほしい。 ・コロナ禍における町会役員会等の会議開催に際しての注意事項を記載した回覧。
オンライン会議等 ICT 化に向けた講習会（3件） <ul style="list-style-type: none"> ・会議に出向かなくて済む。パソコンがあると、一斉メールが送れる。避難等の連絡も瞬時に伝わる。個人のパソコンに頼るのではなく、町会でだれでも使えるようにしたい。 ・オンライン化といっても、65歳を過ぎて自分で学ぼうとはなかなか思わない。
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・区への対応が良かった・不満はない。 ・国、都ではなく、区レベルでのワクチンパスポートの有効活用。 ・マスク等の配布があったが、町会全体に配布するのかがどうかははっきりしないため、混乱した。 ・スマホも PC も使えない高齢者にとっては情報の入手ができない。情報の提供方法を工夫していただきたい。

(3) 行政が実施している支援制度について

Q19 行政が実施している支援制度についてお伺いします。

- ① 貴町会・自治会は墨田区や東京都などの行政が実施している支援制度を過去に活用しましたか。あてはまるもの1つに○をご記入ください。

過去に「活用した」支援制度としては、「各種防災関係助成金・補助金」が90.0%と最も多く、次いで「コミュニティ掲示板助成金」(72.4%)、「新型コロナウイルス感染拡大防止普及啓発事業助成金【上限30万円】」(53.5%)と続いている。



② その制度は満足されるものでしたか。最も近いもの1つに○をご記入ください。

活用した支援制度についてその満足度について尋ねたところ、「非常に満足」と「やや満足」を合わせた【満足】の割合は、ほとんどの支援制度について概ね7割以上となっている。

	回答数	非常に満足		やや満足		やや不満		非常に不満		どちらとも言えない		無回答	
		実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
各種防災関係助成金・補助金	153	36	23.5%	89	58.2%	12	7.8%	1	0.7%	3	2.0%	12	7.8%
コミュニティ掲示板助成金	123	25	20.3%	64	52.0%	15	12.2%	9	7.3%	3	2.4%	7	5.7%
新型コロナウイルス感染拡大防止普及【上限30万円】	91	34	37.4%	40	44.0%	7	7.7%	3	3.3%	2	2.2%	5	5.5%
コミュニティ機関紙助成金	80	19	23.8%	42	52.5%	9	11.3%	2	2.5%	4	5.0%	4	5.0%
会館施設整備補助金	54	17	31.5%	23	42.6%	6	11.1%	2	3.7%	3	5.6%	3	5.6%
地域の底力発展事業助成	44	6	13.6%	28	63.6%	6	13.6%	1	2.3%	2	4.5%	1	2.3%
地域力向上推進事業補助金	41	9	22.0%	23	56.1%	3	7.3%	1	2.4%	3	7.3%	2	4.9%
ボランティア保険	31	5	16.1%	18	58.1%	2	6.5%	0	0.0%	5	16.1%	1	3.2%
会館建設等補助金	30	10	33.3%	14	46.7%	3	10.0%	1	3.3%	2	6.7%	0	0.0%
認可地縁団体等への登記料助成金	26	19	73.1%	4	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	2	7.7%
ICT推進助成金 (旧わかまち通信局助成金)	25	5	20.0%	12	48.0%	4	16.0%	0	0.0%	2	8.0%	2	8.0%
その他	9	3	33.3%	5	55.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%

※「非常に満足」と「やや満足」を合わせた【満足】の割合が70%以上の項目に網掛けをしている（「その他」は除く）。

③ どのような点が不満でしたか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。【複数回答可】

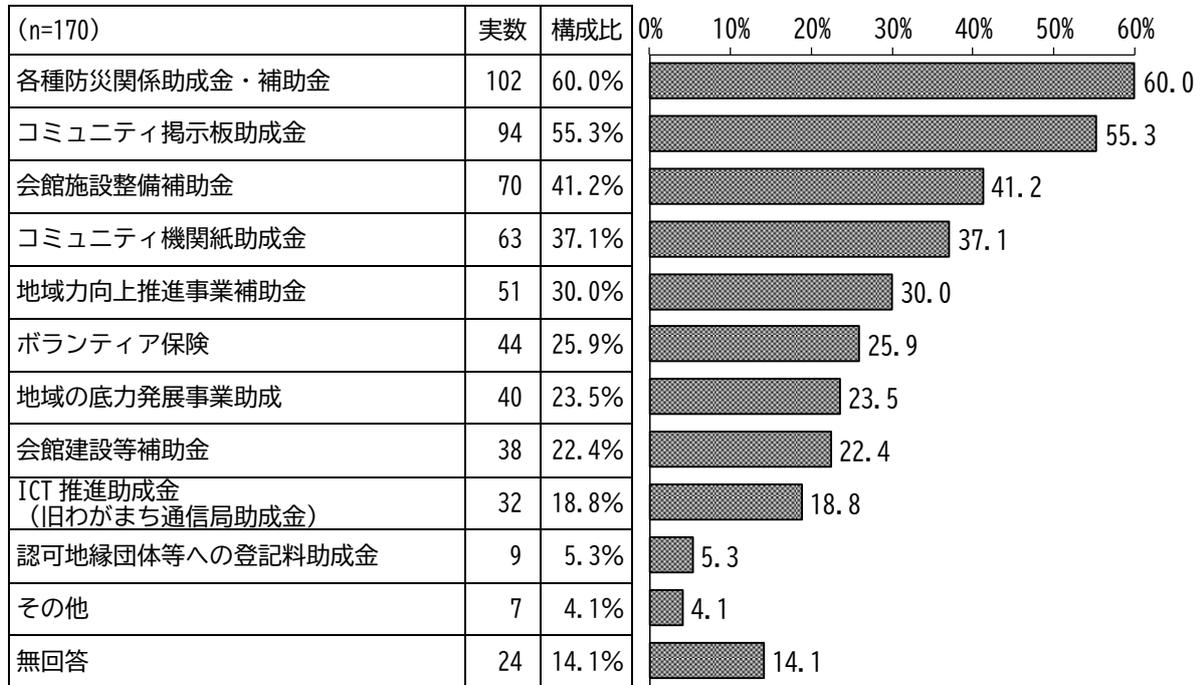
活用したが「やや不満」「非常に不満」と回答した支援制度について不満な点について尋ねたところ、主に「助成金額・補助金額が少ない」や「提出書類が多くて不便である」点が挙げられている。

	回答数	助成金額・補助金額が少ない		助成金・補助金実績が低い		制度内容が複雑で使い勝手が悪い		制度を説明する資料・ホームページ等がわかりにくい		提出書類が多く不便である		その他		無回答	
		実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
各種防災関係助成金・補助金	13	7	53.8%	1	7.7%	3	23.1%	2	15.4%	5	38.5%	1	7.7%	1	7.7%
コミュニティ掲示板助成金	24	17	70.8%	3	12.5%	1	4.2%	0	0.0%	3	12.5%	6	25.0%	0	0.0%
新型コロナウイルス感染拡大防止普及【上限30万円】	10	3	30.0%	4	40.0%	4	40.4%	2	20.0%	5	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
コミュニティ機関紙助成金	11	10	90.9%	1	9.1%	2	18.2%	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
会館施設整備補助金	8	7	87.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	1	12.5%
地域の底力発展事業助成	7	1	14.3%	1	14.3%	1	14.3%	2	28.6%	6	85.7%	0	0.0%	0	0.0%
地域力向上推進事業補助金	4	2	50.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	1	25.0%
ボランティア保険	2	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
会館建設等補助金	4	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%
認可地縁団体等への登記料助成金	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ICT推進助成金 (旧わかまち通信局助成金)	4	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 今後活用したい支援制度について

Q20 貴町会・自治会が今後活用したい、墨田区や東京都などの行政が実施している支援制度は何ですか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。【複数選択可】

今後活用したい支援制度としては、「各種防災関係助成金・補助金」が60.0%と最も多く、次いで「コミュニティ掲示板助成金」(55.3%)、「会館施設整備補助金」(41.2%)と続いている。



6 自由意見

- ・以下、いただいたご意見の一部を抜粋して掲載する。

その他、貴町会・自治会の特徴ある取組や、他の町会等の参考となる取組について、ご自由にお書きください。

集合住宅関連

- ・マンションが増えてきたことによる課題が大きいことから、不動産業界に明るい人材をマンション対応の役員に置き、対応している。マンション建設用に解体工事が始まったときからコンタクトをとるなど、専門性を生かして活躍してもらっている。また、今までは口約束としてたものを覚書にするようにした。
- ・マンションが増えて住民は増えているが、町会費を出してくれる人が少なく、中には脱退してしまう人もいる。人口増に伴い、町会員が増加することはよいことだが、集合住宅の加入促進が今後の課題になる。災害時など、町会加入のメリットを分かりやすく広報してほしい。
- ・ワンルームマンション対策はお願い、依頼、協力レベルでは難しいので、区としてきちんと対応をしないと、町会活動ができなくなるので、検討してほしい。
- ・向島地区も現在マンション建設が続いているが、管理者が分からないマンションはトラブルが発生した際どこに言えばよいのか分からず不安である。マンション管理会社には町会と連携をとるよう区から声掛けをしてほしい。

参考好事例

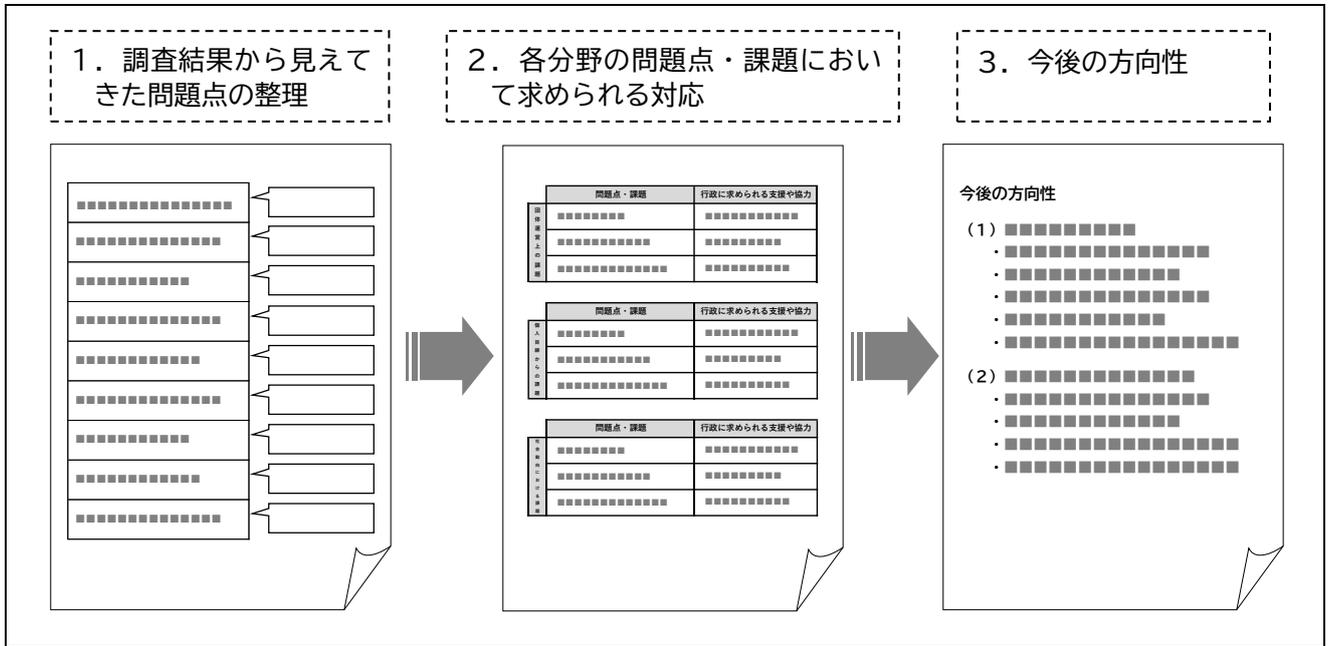
- ・活動の参加者が少なく、役員が高齢化しており世代間交流が難しい。我々の町会は集合住宅がいくつかあるので、その役員を町会の役員にも登用している。そのため、次期会長及びその次の会長も既に決まっている。会長選びは揉めることが多いと思うので、参考になるのではないかと。
- ・町会の加入メリットは何かと良く聞かれる。夜間パトロールや防犯カメラの設置等で地域の安全が守られている。防災面でも地域単位でできることがあり、個人というより、町会の全体でのメリットあり、協力していただきたいとお話している。
- ・近所の賃貸に住んでいる方が、この町会を離れたくないと言って分譲を購入した。顔が見える活動を続けていきたい。治安維持にも役立つ。出歩いて顔見知りを増やしていきたい。
- ・あいさつ運動を継続している（住人同士の挨拶が浸透してきており、外部の方が来ても挨拶をするようになったため、防犯にも役立っていると感じている。）。
- ・お祭りなどは近隣の町会と連携しており、相互参加ができるようにしている。
- ・災害時における「総合応援協定」を近隣町会と締結している。
- ・コロナ禍にあっても、町の人に見えやすい活動を心掛け、町会会館一周年記念誌の発行など、若い人に町会の歴史を理解してもらえるようにしている。
- ・防災訓練を実施するにあたり、コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用、手指消毒、検温を実施した。
- ・町会として各世帯にマスク1箱（50枚）、除菌シートを配布した。
- ・地域の小中学校で30年近く挨拶運動を自主的にしている。子供たちが成長しても声をかけてくれるので、やりがいがある。その子供たちまでつながっているのが感慨深い。これからも続けていきたい。
- ・去年、今年と町会活動ができていないことから、せめて卒業や入学の記念品にお金をかけた。その結果、喜んでもらった。
- ・マンションが建設されたことにより99世帯の加入があった。子育て世代の若い世代が加入し、当初は交流が難しいにではと考えていたが、そんなこともなくうまく交流できている。町会加入の促進と若い世代との交流が図れば、町会活動はうまくいくのではと、それから考えるようになった。今後も積極的に加入促進に対する支援の実施を強く要望する。

課題

- ・区役所だけでなく、警察や消防など各種団体からチラシの掲示等の依頼があり、煩雑すぎて困っている。
- ・人が少ないことが大変。昔は自営業がたくさんいたが、息子は皆サラリーマンになってしまい繋がりが減ってしまった。この地域は子供もいないので、親どうしの関係をつくることも難しい。役員は高齢化していて担い手もない。ワンルームが多くてファミリー層がこない。国勢調査の時も賃貸は入りづらくて困った。町会の存続も危ないかもしれない。
- ・町会も 9 割が勤め人で、役員は定年後年金生活となつてから行う人が多い。今までの会長は寄付を行っていたようであるが、年金生活では厳しいため会長の寄付等をやめるよう提案しようと思っている。会長の負担が多いと次になる人がいなくなってしまう。
- ・区の補助について。もう少し町会会館が広ければいいと感じているが、それを実現するために補助金（用地取得、建設等）があるのか、そうした情報を色々と提供してほしい。Wi-Fi 整備も補助があるの知らない。
- ・空き家が 2 件ほどあり、動物の出入りや深夜の若者の集まり等、衛生面、治安面で課題となっている。
- ・町会加入促進策として、若者との交流ができるイベントを区主催で行ってほしい。
- ・防災訓練やお祭りなど、他の町会と一緒にやっているのだから出来るが、町会単独では町会会館もないし、婦人部なども無いし、若い人が交替してくれないと町会がなくなってしまうのではと心配である。
- ・旧中川にある公園の清掃をしているが、高齢化で実施が困難になっている。花の種を植えたし、花が咲いてきれいなので続けたいが、難しくなっている。若い人が協力してくれればいいが、なかなか声をかける機会がない。
- ・感染者も落ち着き、ワクチンも接種しているので必要に応じて活動を再開していきたいとは考えている。すぐに全て再開とはいかないが、周辺の町会の状況や国、都、区による感染症対策の方針などに従い、できることから行事を再開できればと考えている。
- ・デジタル化をできることから推進するべきである。タウンミーティングを実施し、リモート参加も可能と聞いたが、知らなかった。情報発信をしっかりしてほしい。
- ・高齢者ばかりであるため、体力を使うような活動はできない。防災や防犯活動などは、DVD 鑑賞による知識習得など中心に行っている。そのための機材などを整備して欲しい。

Ⅲ まとめ ～今後の方向性～

この章では、本調査の結果から問題点・課題を抽出し、＜町会・自治会における団体運営上の課題＞＜住民（会員・非会員）視点からの課題＞＜社会動向における課題＞の3つの分野に分類したうえで、それぞれにおいて求められる対応を整理した。また、最後に今後の方向性としてまとめを行った。



1 調査結果から見えてきた問題点の整理

調査結果のなかで回答選択肢として相対的比率の高かったものを中心に、コロナ禍における現状や課題に関するものなど、速やかな対応が求められると考えられるものを抽出した。

問題点・課題	
<ul style="list-style-type: none"> Q 1 ④会長を務めて特に負担が大きいと感じること 「後任役員の確保」74.1% 「補助金申請、書類作成などの事務」54.1% 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">後任役員の確保が困難 ①</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">役員の負担の増加 ②</div>
<ul style="list-style-type: none"> Q 2 ②役員の年代 「70代以上がメイン」47.1% 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">役員の高齢化 ③</div>
<ul style="list-style-type: none"> Q 2 ④役員のうち女性の人数 「3人以下」35.9% 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">女性役員の不足 ④</div>
<ul style="list-style-type: none"> Q 2 ⑤役員のうち50歳代以下の人数 「いない」21.8%、「3人以下」62.9% 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">若手人材不足 ⑤</div>
<ul style="list-style-type: none"> Q 4 ①新型コロナの影響により行った対応 住民の関心を集めやすい活動が中止 (祭り71.2%、親睦活動80.6%、子どもを対象とした活動62.9%など) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">新型コロナの影響 ⑥</div>
<ul style="list-style-type: none"> Q 4 ③役員の高齢化が進むと実施が困難になると思われる活動 「防災訓練」37.6%、「防犯・防災パトロール」35.3%、 「会費等の集金」34.7% 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">活動自体が困難になることに対する懸念 ⑦</div>

<ul style="list-style-type: none"> ・ Q9④デジタルツールを活用していない理由 「デジタルツールの利用方法・操作方法が難しい、または活用できる人材がいない」 56.6% 	活動のデジタル化 ⑧
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q12 加入を断られた際の理由 「町会・自治会活動に関心がない」 52.4% 「何をしているのか分からない、加入メリットが分からない」 37.6% 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の関心の低さ ⑨ 情報不足 ⑩ 加入メリットが理解されない ⑪
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q12 加入を断られた際の理由 「仕事などで忙しく、活動に参加できない」 45.3% 	<ul style="list-style-type: none"> ライフスタイル・価値観の変化 ⑫
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q13 若年層（20～50代）の未加入者に対し、必要と考えること 「町会・自治会の活動内容や意義を理解してもらう」 62.9% 	<ul style="list-style-type: none"> 町会・自治会の意義の認識の低さ ⑬
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q15②過去3年間に建設された新築集合住宅のうち、町会に加入した割合 「0割～2割程度」 40.1% 	<ul style="list-style-type: none"> 増加著しい集合住宅への対応 ⑭
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q15⑤集合住宅における加入促進対策として必要だと思うこと 「開発段階における建築事業者等への加入誘導に関する協力依頼」 78.2% 	<ul style="list-style-type: none"> 増加著しい集合住宅への対応 ⑭
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q16 運営に関する課題 「役員の高齢化」 75.3% 	<ul style="list-style-type: none"> 役員の高齢化 ③
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q16 運営に関する課題 「若手人材不足」 68.8% 	<ul style="list-style-type: none"> 若手人材不足 ⑤
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q16 運営に関する課題 「新型コロナの影響で活動ができない」 54.1% 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響 ⑥
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q16 運営に関する課題 「活動の参加者が少ない」 51.8% 	<ul style="list-style-type: none"> 活動参加者の減少 ⑮
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q16 運営に関する課題 「活動内容が慣例化している」 43.5% 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の停滞・マンネリ化 ⑯
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q16 運営に関する課題 「住民の関心が少ない」 42.4% 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の関心の低さ ⑨
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q16（自由意見）「役員のみ手がない」 	<ul style="list-style-type: none"> 後任役員の確保が困難 ①
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q16（自由意見）「若い人は町会への関心がない」「何のために自治会・町会があるのかわからない人が多い」 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の関心の低さ ⑨ 町会・自治会の意義の認識の低さ ⑬
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q16（自由意見）「未加入が増えている。単身のため、高齢のため等の理由で町会をやめる。地縁やお隣との関わり合いが薄れている」 	<ul style="list-style-type: none"> ライフスタイル・価値観の変化 ⑫
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q16（自由意見）「地域にマンションが建設されているが賃貸が多く、新規に加入してくる町会員もいない」 	<ul style="list-style-type: none"> 加入率の低下 ⑰
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q16（自由意見）「マンションが建設され町会の構成員が変わってきたが、個人情報関係で誰が住んでいるのか分からない」 	<ul style="list-style-type: none"> 近所付き合いの希薄化 ⑱
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q17 行政に実施してもらいたい支援や協力 「運営に対する補助金や助成金など財政的な支援」 55.9% 	<ul style="list-style-type: none"> 「顔の見えない住民」の増加 ⑲ 活動予算の不足 ⑳

2 各分野の問題点・課題において求められる対応

上記「1 調査結果から見えてきた問題点の整理」における多岐に渡る課題から、共通する項目毎に分類し整理した。

調査結果全体からは、3年前に実施した全町会・自治会実態調査における課題として認識した施設整備等支援（ハード支援）、運営支援（ソフト支援）、加入促進（情報支援）に係る課題は現状においても確認できるところであるが、その点においてはこの間実施してきた新たな施策等を引き続き展開していくものであり、今回は特に近年の町会・自治会を取り巻く課題（デジタル化や集合住宅、コロナ禍における活動など）に重きをおいた調査結果を踏まえ、次の3つの視点から今後必要な支援や協力を整理した。

	問題点・課題	求められる対応
〱町会・自治会における団体運営上の課題〱	②役員負担の増加	<ul style="list-style-type: none"> デジタルツール活用による作業の効率化 回覧・掲示物の内容を精査し、負担を軽減
	①後任役員確保が困難 ③役員の高齢化 ④女性役員不足 ⑤若手人材不足 ⑦活動自体が困難になることに対する懸念	<ul style="list-style-type: none"> 特に若年層へ向けた情報発信（活動に関する広報、町会・自治会の意義を理解してもらう） 加入促進のためのリーフレットやポスター作成
	⑧活動のデジタル化 ⑯活動の停滞・マンネリ化 ⑳活動予算の不足	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化関連講習会等の実施 住民の関心をひきつける活動のアイデアの提供 助成金・補助金の拡充

	問題点・課題	求められる対応
〱住民（会員・非会員）視点からの課題〱	⑰加入率の低下	<ul style="list-style-type: none"> 加入促進のためのリーフレットやポスター作成 住民に向けた情報発信（活動に関する広報、町会・自治会の意義を理解してもらう）
	⑨住民の関心の低さ ⑪加入メリットが理解されない ⑬町会・自治会の意義の認識の低さ	
	⑩情報不足 ⑮活動参加者の減少	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な広報ノウハウの提供 住民の関心をひきつける活動のアイデアの提供

	問題点・課題	求められる対応
社会動向における課題	⑥新型コロナの影響	・デジタルツールを利用した非対面コミュニケーションの実施
	⑫ライフスタイル・価値観の変化	・集合住宅開発段階における事業者との協力
	⑭増加著しい集合住宅への対応	
	⑮近所付き合いの希薄化	・加入促進のためのリーフレットやポスター作成
⑲「顔の見えない住民」の増加	・住民に向けた情報発信（活動に関する広報、町会・自治会の意義を理解してもらう）	

町会・自治会活動を取り巻く状況は、＜町会・自治会における団体運営上の課題＞＜住民（会員・非会員）視点からの課題＞＜社会動向における課題＞が作用しあい、「負の循環」が生じていると考えられる。

3 今後の方向性

上記「2 各分野の問題点・課題において求められる対応」における課題、支援は個別の事象を示しているが、それぞれが独立して存在しているのではなく、相互の関連性から状況が深刻化している状況が懸念される。

改めて俯瞰的視点から効果的に施策を展開するため、次の2点からの今後の取組を進めていく必要があると捉え整理した。

(1) 情報の発信・共有

- ① 機関誌の発行と充実
 - ・機関紙の魅力向上に係る講座の実施
 - ・機関紙のPR展示
 - ・デジタルツールを活用した機関紙の配布
- ② デジタルツールを活用した活動活性化への支援
 - ・デジタルツールの使い方に関する講座の実施（メールやラインによる連絡・情報共有）
 - ・他町会・自治会の好事例の紹介（情報交換会の開催）
 - ・区政情報（コミュニティ FAX によるもの）のメールによる情報発信の取組強化

(2) 加入促進

- ① 集合住宅開発段階における建築事業者との事前協議等の改善
 - ・墨田区集合住宅条例に伴う加入誘導の整備
- ② 加入促進のためのツール作成
 - ・加入促進リーフレットによる周知
 - ・加入促進マニュアルの作成
 - ・効果的な情報発信の支援

【調査結果における課題に関する方向性】

		<平成30年度調査結果> 課題に関する方向性	これまでの対応	<令和3年度調査結果> 課題に関する方向性		
60	施設整備等支援 (ハード支援)	助成金・補助金 ・助成金・補助金の拡充 【短期的～中期的】	<ul style="list-style-type: none"> ・町会・自治会会館建設等補助金の購入・新築に係る補助上限額の引上げ【令和2年度～】 ・わがまち通信局助成金の補助対象を拡充 (Wi-Fi 設備の導入経費等) ※名称を「わがまち通信局助成金」から「ICT 推進助成金」に変更【令和2年度～】 ・ICT 推進助成金に係る無線 LAN 設備の導入及び通信に係る経費補助について、町会会館等を保有していない町会・自治会でも交付が受けられるよう適用拡大【令和3年度～】 	助成金・補助金の拡充 (継続) 【短期的～中期的】	助成金・補助金の拡充の継続	
	運営支援 (ソフト支援)	情報発信・デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙作成支援【短期的】 ・SNS等ウェブサイトによる情報発信支援【短期的】 	町会・自治会情報発信応援事業 【令和元年度～】	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙作成支援 (拡充) 【短期的～中期的】 ・デジタルツールを活用した活動活性化への支援 (新規) 【短期的～長期的】 	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙の魅力向上に係る講座の実施 ・機関紙のPR 展示 ・デジタルツールを活用した機関紙の配布 ・デジタルツールの使い方に関する講座の実施 (メールやラインによる連絡・情報共有) ・他町会・自治会の好事例の紹介 (情報交換会の開催) ・区政情報 (コミュニティ FAX によるもの) のメールによる情報発信の取組強化
		活動活性化	「プラットフォーム」の形成支援 【短期的～長期的】	地域力向上プラットフォーム事業 【令和元年度～】	「プラットフォーム」の形成支援 (継続) 【短期的～長期的】	「プラットフォーム」の形成支援の継続
加入促進	加入促進ツール	加入促進のためのリーフレットの作成 【短期的】	町会・自治会加入促進リーフレットの作成・配布 【平成30年度～】	加入促進のためのツール作成 (拡充) 【短期的】	加入促進リーフレットによる周知 ・加入促進マニュアルの作成 ・効果的な情報発信の支援	
	人材支援	若手人材育成事業の活用 【短期的～中期的】	「すみだ街歩きフォトコンテスト」の実施 【令和元年度】	若手人材育成事業の活用 (継続) 【短期的～中期的】	若手人材育成事業の活用の継続	
	集合住宅	—	町会・自治会への加入誘導計画書の見直し 【令和2年度～】	集合住宅開発段階における建築事業者との事前協議等の改善 (新規) 【短期的】	墨田区集合住宅条例等に伴う加入誘導の整備 ・加入促進マニュアルによる加入誘導の推進	

IV 調査票

④ 会長を務めて特に負担が大きいと感じることについて、あてはまるもの3つまで○をご記入ください。

1. 補助金申請、書類作成などの事務
2. 回覧などの情報伝達
3. 会議・行事などへの出席
4. 後任役員の確保
5. 住民からの意見・要望等の対応
6. 町会・自治会活動に伴う個人としての経済的負担
7. ホームページやSNSなどの更新作業
8. 募金・集金活動
9. 負担が大きいとは感じない
10. その他 ()

Q2 役員についてお伺いします。

① 役員の人数について、あてはまるもの1つに○をご記入ください。

1. 10人未満	2. 10～20人未満	3. 20～30人未満	4. 30人以上
----------	-------------	-------------	----------

② 役員の年代について、最も人数が多いと思う年代1つに○をご記入ください。

1. 40代以下	2. 50代	3. 60代	4. 70代	5. 80代以上
----------	--------	--------	--------	----------

③ 役員の職業について、多いと思うもの2つまで○をご記入ください。

1. 自営業（製造業等）	2. 自営業（商業・サービス業等）	3. 自由業・専門職
4. 会社役員・団体役員	5. 会社員・公務員	6. 無職
7. その他 ()		

④ 役員のうち、女性は何人いますか。あてはまるもの1つに○をご記入ください。

1. いない	2. 1人	3. 2人	4. 3人	5. 4～5人
6. 6～9人	7. 10人以上			

⑤ 役員のうち、50歳代以下は何人いますか。あてはまるもの1つに○をご記入ください。

1. いない	2. 1人	3. 2人	4. 3人	5. 4～5人
6. 6～9人	7. 10人以上			

■貴町会・自治会の「活動」についてお伺いします■

Q3 会費（年間）はいくらですか。

_____円/年

※ 会費の割引（集合住宅等）を行っている場合は、その内容をご記入ください。

--

Q4 貴町会・自治会の活動についてお伺いします。

① 貴町会・自治会では、新型コロナウイルスの影響により、どのような対応を行いましたか。(1)～(15)の活動内容それぞれの「対応状況」について、あてはまる番号に1つずつ○をご記入ください。

活動の内容	対応状況				
	中止	縮小して実施	通常通り実施	もともと実施していない	わからない
(1)環境美化活動（清掃・リサイクルなど）	1	2	3	4	5
(2)交通安全推進活動	1	2	3	4	5
(3)青少年健全育成活動	1	2	3	4	5
(4)防災活動（災害の予防や災害時の対策等）	1	2	3	4	5
(5)町内の親睦のための各種活動（旅行会・交流会など）	1	2	3	4	5
(6)地域福祉活動（高齢者・障がい者への支援など）	1	2	3	4	5
(7)防犯活動・見守り活動（防犯パトロールなど）	1	2	3	4	5
(8)健康づくり推進活動（スポーツ、運動会等）	1	2	3	4	5
(9)他町会等との交流を図る活動（親睦会など）	1	2	3	4	5
(10)子どもを対象とした活動（お楽しみ会など）	1	2	3	4	5
(11)祭りなどの文化行事	1	2	3	4	5
(12)趣味・教養のためのサークル活動	1	2	3	4	5
(13)地域財産や建物などの共同管理	1	2	3	4	5
(14)町会・自治会内トラブルの調整	1	2	3	4	5
(15)その他（ ）	1	2	3	4	5

② 貴町会・自治会では、活動を行う中で新型コロナウイルスの感染対策としてどのような予防対策を実施していますか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。（複数回答可）

1. マスクの着用	2. 手洗いの徹底
3. 役員会・イベント等出席者の人数制限	4. 役員会・イベント等出席者の検温
5. アクリルパーテーション等の設置	6. 窓やドア等開放による換気
7. 机・イス等備品の消毒	8. 特に行っていない
9. その他（ ）	

③ 貴町会等の活動の中で、このまま役員の高齢化が進むと実施が困難であると思われる活動は何ですか。あてはまるもの3つまで○をご記入ください。

1. 会費等の集金	2. 回覧板等による情報提供
3. パソコン・スマートフォン等の活用	4. 募金活動
5. 清掃・リサイクル活動	6. 防犯・防災パトロール
7. 防災訓練	8. 地域福祉・見守り活動（高齢者・障がい者への支援など）
9. 町内の親睦活動（旅行会・交流会など）	10. 特になし
11. その他（ ）	

Q5 貴町会等の活動の中では、男女を問わず20歳代から50歳代程度までの若手人材が参加していますか。最も近いもの1つに○をご記入ください。

- | |
|---|
| 1. 既に役員等の役割を担っている
2. 機会があれば積極的に協力してもらっている
3. 要望があれば受け入れている
4. 若手住民等との対話の機会を設けている・設けるよう努めている
5. 現在はないが、今後は協力関係を築きたい
6. 参加の必要性を感じていない
7. 参加については把握していない
8. その他 () |
|---|

Q6 地域の他の組織や団体との協力関係についてお伺いします。下表① ②について、あてはまる番号に○をご記入ください。

- ① 地域の他の組織や団体との協力関係はありますか。(1)～(14)の組織・団体のうち、あてはまる番号全てに○をご記入ください。(複数回答可)
- ② 今後の活動において、特に協力関係を密にしていきたいと思う組織・団体は何ですか。あてはまる番号全てに○をご記入ください。(複数回答可)

① 協力関係のある組織・団体 (あてはまる番号全てに○) ↓	② 今後協力を密にしたい組織・団体 (あてはまる番号全てに○) ↓
1. 小中学校・PTA	1. 小中学校・PTA
2. 消防団	2. 消防団
3. 商店街	3. 商店街
4. 社会福祉協議会	4. 社会福祉協議会
5. 地元で事務所がある企業・事業所	5. 地元で事務所がある企業・事業所
6. 老人会(町会等と独立した)	6. 老人会(町会等と独立した)
7. 子ども会(町会等と独立した)	7. 子ども会(町会等と独立した)
8. 大学・高専・専門学校	8. 大学・高専・専門学校
9. マンション管理組合・不動産業者	9. マンション管理組合・不動産業者
10. 保育所、幼稚園、認定こども園	10. 保育所、幼稚園、認定こども園
11. 介護施設等の社会福祉施設	11. 介護施設等の社会福祉施設
12. NPO	12. NPO
13. 更生保護関係団体(保護司会等)	13. 更生保護関係団体(保護司会等)
14. その他 ()	14. その他 ()

⑦ 町会・自治会のデジタル化への推進にあたり、どのような支援が必要と考えますか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。(複数回答可)

1. デジタル機器購入やインターネット回線等維持管理に関する経費の補助
2. 町会・自治会が主催する会員向け講習会等の実施に係る経費
3. 区主催のデジタル関連講習会等の開催
4. デジタル化専門員等による個別相談窓口の開設
5. デジタル化に積極的に取り組んでいる町会・自治会との交流促進
6. 町会・自治会関連情報を集約するポータルサイトの開設
7. 特にない
8. その他 ()

■貴町会・自治会の「加入促進活動」についてお伺いします■

Q10 町会・自治会未加入者への加入呼びかけは行っていますか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。(複数回答可)

1. 直接訪問して勧誘している
2. マンションの管理会社や管理者、不動産業者を通して勧誘している
3. お祭りやイベントの時に広報誌・パンフレットなどを配布している
4. パンフレットなどをポストへ投函している
5. ホームページや SNS (ツイッター、フェイスブック等) 等で町会・自治会のPRを行っている
6. 会員と未加入者等との交流の機会・場を設けて行っている
7. 特に行っていない
8. その他 ()

Q11 貴町会・自治会に新たに加入した方々に対するその後の対応についてお伺いします。

① 貴町会・自治会に新たに加入した方々が、地域にうまく溶け込むための工夫は自主的に行っていますか。最も近いもの1つに○をご記入ください。

1. 頻繁に行っている
 2. 時々行っている
 3. 行っていない
 4. その他 ()
- } 【次ページ質問②へ】
- ⇒ 【次ページ質問③へ】
-) ⇒ 【次ページQ12へ】

■貴町会・自治会の「運営に関する課題」についてお伺いします■

Q16 貴町会・自治会の運営に関する課題にはどのようなものがありますか。あてはまるもの全てに○
をご記入ください。(複数回答可)

1. 活動の参加者が少ない	2. 活動内容が慣例化している
3. 住民の関心が少ない	4. 世代間交流が難しい
5. 活動の指導者がいない	6. 新旧住民の交流が難しい
7. 外国人住民との交流が難しい	8. 他の組織・人材との連携が弱い
9. 他の地域との連携が弱い	10. 活動のPRが不足している
11. 活動のための情報が不足している	12. 未加入世帯が多い
13. 予算が不足している	14. 活動や会議をする場所が少ない
15. 会員情報の入手(名簿更新等)が難しい	16. 役員の高齢化
17. 若手人材不足	18. 新型コロナの影響で活動ができない
19. 町会・自治会単体での活動継続が難しい	20. 特にない
21. その他()	

◆特に説明・理由を必要とすることについてご記入ください。

Q19 行政が実施している支援制度についてお伺いします。

- ① 貴町会・自治会は、(1)～(12)の墨田区や東京都などの行政が実施している支援制度を過去に活用しましたか。あてはまるもの1つに○をご記入ください。
 - ② 【質問①で「1. 活用した」と回答した制度について伺います。】
その制度は満足されるものでしたか。最も近いもの1つに○をご記入ください。
 - ③ 【質問②で「3. やや不満」「4. 非常に不満」と回答した制度について伺います。】
どのような点が不満でしたか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。(複数回答可)
- ※ 各助成金等の概要については、「令和3年度版<墨田区>町会・自治会と区とのかかわり」(春の全町会長・自治会長会議にて配布)等をご参照ください。

助成等事業名		① 活用した 制度	② 満足度 ※①で「活用した」 を選んだ場合に ご回答ください。	③ 不満な点 ※②で「やや不満」「非常 に不満」を選んだ場合に ご回答ください。
区	(1)コミュニティ掲示板助成金	1.活用した 2.活用して いない	1.非常に満足 2.やや満足 3.やや不満 4.非常に不満 5.どちらとも 言えない	1.助成金額・補助金額が 少ない 2.助成金・補助金の実績 払いである 3.制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4.制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5.提出書類が多く不便で ある 6.その他()
	(2)コミュニティ機関紙助成金	1.活用した 2.活用して いない	1.非常に満足 2.やや満足 3.やや不満 4.非常に不満 5.どちらとも 言えない	1.助成金額・補助金額が 少ない 2.助成金・補助金の実績 払いである 3.制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4.制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5.提出書類が多く不便で ある 6.その他()
	(3)ICT 推進助成金 (旧わがまち通信局助成金)	1.活用した 2.活用して いない	1.非常に満足 2.やや満足 3.やや不満 4.非常に不満 5.どちらとも 言えない	1.助成金額・補助金額が 少ない 2.助成金・補助金の実績 払いである 3.制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4.制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5.提出書類が多く不便で ある 6.その他()

助成等事業名		① 活用した 制度	② 満足度 ※①で「活用した」 を選んだ場合に ご回答ください。	③ 不満な点 ※②で「やや不満」「非常 に不満」を選んだ場合に ご回答ください。
区	(4)認可地縁団体等への登記料助成金	1.活用した 2.活用して いない	1.非常に満足 2.やや満足 3.やや不満 4.非常に不満 5.どちらとも 言えない	1.助成金額・補助金額が 少ない 2.助成金・補助金実績 払いである 3.制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4.制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5.提出書類が多く不便で ある 6.その他()
	(5)会館建設等補助金	1.活用した 2.活用して いない	1.非常に満足 2.やや満足 3.やや不満 4.非常に不満 5.どちらとも 言えない	1.助成金額・補助金額が 少ない 2.助成金・補助金実績 払いである 3.制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4.制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5.提出書類が多く不便で ある 6.その他()
	(6)会館施設整備補助金	1.活用した 2.活用して いない	1.非常に満足 2.やや満足 3.やや不満 4.非常に不満 5.どちらとも 言えない	1.助成金額・補助金額が 少ない 2.助成金・補助金実績 払いである 3.制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4.制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5.提出書類が多く不便で ある 6.その他()
	(7)地域力向上推進事業補助金	1.活用した 2.活用して いない	1.非常に満足 2.やや満足 3.やや不満 4.非常に不満 5.どちらとも 言えない	1.助成金額・補助金額が 少ない 2.助成金・補助金実績 払いである 3.制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4.制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5.提出書類が多く不便で ある 6.その他()

助成等事業名		① 活用した 制度	② 満足度 ※①で「活用した」 を選んだ場合に ご回答ください。	③ 不満な点 ※②で「やや不満」「非常 に不満」を選んだ場合に ご回答ください。
区	(8) ボランティア保険	1. 活用した 2. 活用して いない	1. 非常に満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 非常に不満 5. どちらとも 言えない	1. 助成金額・補助金額が 少ない 2. 助成金・補助金実績 払いである 3. 制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4. 制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5. 提出書類が多く不便で ある 6. その他 ()
	(9) 各種防災関係助成金・補助金	1. 活用した 2. 活用して いない	1. 非常に満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 非常に不満 5. どちらとも 言えない	1. 助成金額・補助金額が 少ない 2. 助成金・補助金実績 払いである 3. 制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4. 制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5. 提出書類が多く不便で ある 6. その他 ()
都	(10) 地域の底力発展事業助成	1. 活用した 2. 活用して いない	1. 非常に満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 非常に不満 5. どちらとも 言えない	1. 助成金額・補助金額が 少ない 2. 助成金・補助金実績 払いである 3. 制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4. 制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5. 提出書類が多く不便で ある 6. その他 ()
	(11) 新型コロナウイルス感染拡大防止 普及啓発事業助成金【上限 30 万円】 ※ 本事業はすでに終了しています。	1. 活用した 2. 活用して いない	1. 非常に満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 非常に不満 5. どちらとも 言えない	1. 助成金額・補助金額が 少ない 2. 助成金・補助金実績 払いである 3. 制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4. 制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5. 提出書類が多く不便で ある 6. その他 ()

助成等事業名		① 活用した 制度	② 満足度 ※①で「活用した」 を選んだ場合に ご回答ください。	③ 不満な点 ※②で「やや不満」「非常 に不満」を選んだ場合に ご回答ください。
	(12)その他 ()	1.活用した 2.活用して いない	1.非常に満足 2.やや満足 3.やや不満 4.非常に不満 5.どちらとも 言えない	1.助成金額・補助金額が 少ない 2.助成金・補助金実績 払いである 3.制度内容が複雑で使い 勝手が悪い 4.制度を説明する資料・ ホームページ等がわか りにくい 5.提出書類が多く不便で ある 6.その他 ()

Q20 貴町会・自治会が今後活用したい、墨田区や東京都などの行政が実施している支援制度は何ですか。あてはまるもの全てに○をご記入ください。(複数回答可)

1. コミュニティ掲示板助成金 2. コミュニティ機関紙助成金 3. ICT 推進助成金 (旧わがまち通信局助成金) 4. 認可地縁団体等への登記料助成金 5. 会館建設等補助金 6. 会館施設整備補助金 7. 地域力向上推進事業補助金 8. ボランティア保険 9. 各種防災関係助成金・補助金 10. 地域の底力発展事業助成 11. その他 ()

◆自由意見欄

その他、貴町会・自治会の特徴ある取組や、他の町会等の参考となる取組について、ご自由にお書きください。

＝ ご協力、ありがとうございました ＝
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

全町会・自治会実態調査報告書

令和4年3月

発行 墨田区地域力支援部 地域活動推進課

墨田区吾妻橋1-23-20

電話 03(5608)3661(直通)